

第2回

つくば市ジュニアスポーツ・芸術文化活動推進会議



# 地域クラブの認定制度



## 地域クラブの認定

地域クラブ : 地域で定期的に活動するスポーツ又は芸術文化の団体 (活動)



認定地域クラブ : 学校部活動の地域展開先として生徒に提示する団体 (活動)

### 認定の目的

休日活動の地域展開先として提示するにあたって

- ・一定の安全管理体制が確保されていること
  - ・運営主体が明確であること
  - ・市内中学生が参加可能である(団体構成員に含まれている)こと
  - ・運営に必要な経費が徴収される等、持続可能な運営となっていること
- …等の要件を確認のうえ、認定を行うことで

- ・活動場所の確保(中学校施設利用の優先)
  - ・休日部活動に代わる活動として生徒へ情報を提示
  - ・学校との連絡体制の確保
  - ・これまでの学校部活動にないが地域で実施されている種目の発掘
- …につなげ、円滑な地域展開を図る目的

クラブ側のメリット

## 認定のスケジュール

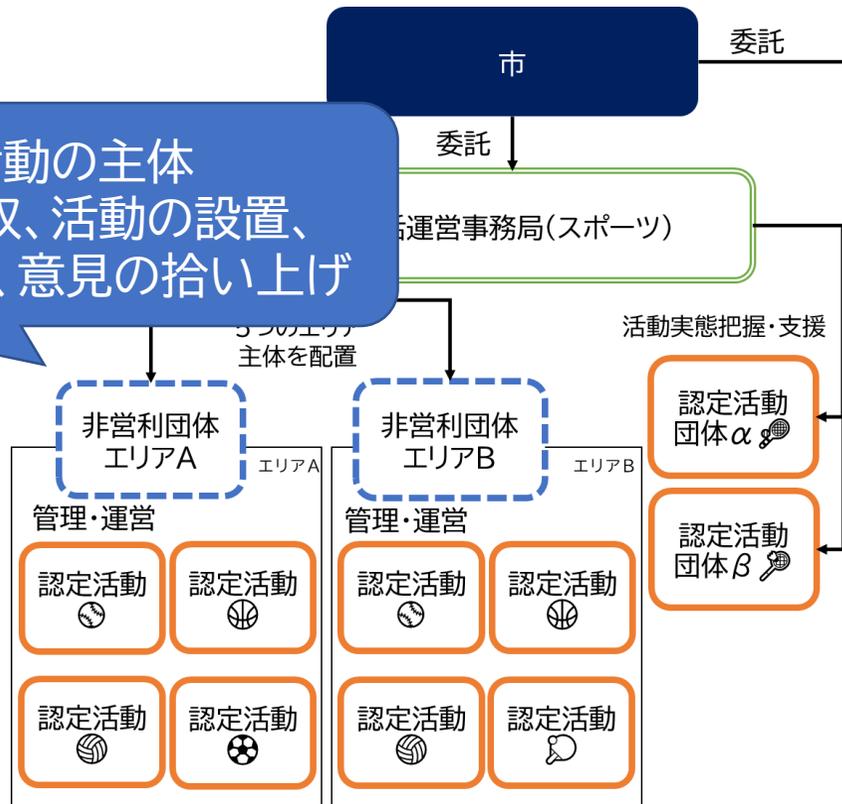
4月からの学校体育施設の利用調整のため、第1次期間のスケジュールは以下のとおり

1月末	つくば市地域クラブ認定要件公表
2月2日	団体からの認定申請受付開始
2月18日	1次申請締め切り(募集は継続) ※申請書に利用希望施設及び時間を記載いただく想定
2月末	つくば市認定地域クラブ(1次受付分)の決定
3月1週目	申請内容を基に、利用配置案を各校へ展開 ※調整が必要な時間帯を調整 ※4月上旬の利用不可日確認
3月3週目	利用スケジュールの決定
4週目	鍵の貸出に係る調整、受け渡し
4月1日以降	認定地域クラブによる施設利用開始

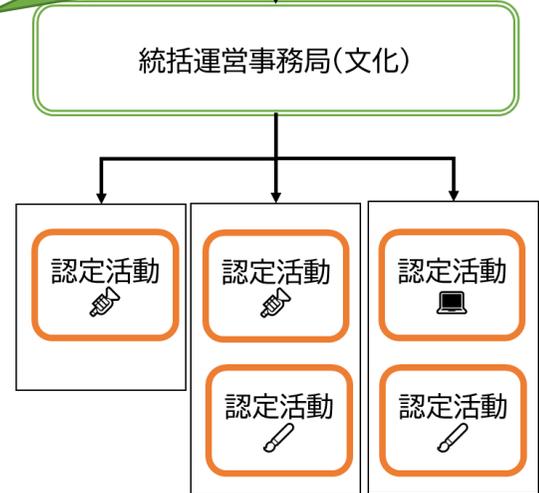
以後、偶数月末締、翌々月利用開始の調整を想定

# 統括運営事務局の整備

活動の主体  
会費徴収、活動の設置、  
生徒管理、意見の拾い上げ



全体調整  
エリア間の調整、各種発信の一元化、  
スポット指導の派遣、独立団体との調整



各エリア主体と調整しながら  
5つのエリアへの活動配置



## 地域クラブの認定要件

▶詳細は資料2-2のとおり

### 認定の敷居をどこに設定するか

	メリット	デメリット
指導者要件 (例) 有資格者	指導者の質担保 大会引率が可能	指導者の確保が困難 資格取得更新の費用
体制要件 (例) 代表・副代表・会計・監事必須	保護者の安心感 学校が提示しやすい	団体が限定的になる 生徒が主体の活動が作りづらい
対象要件 (例) 指定校生徒のみ参加可能	現行の活動のままのため 保護者会等がそのまま団体となりうる 平日活動と合わせた活動が作りやすい	団体種目のメンバー不足の活動が合流できず継続できない
金額要件 (例) 1回あたりの上限金額の設定	低廉な費用負担を担保	運営支援補助等が整備されていないなかで持続可能な活動にならない 種目や指導者による費用差がある



## 認定の申請が想定される 地域クラブ

1. これまで部活動地域展開の実証事業に協力いただいていたクラブ
2. 学校部活動にない種目で、中学生も参加可能なクラブ  
例：つくば市ジュニアスポーツ・芸術文化活動登録団体
3. 小学生を対象としたスポーツ少年団等で、3月卒業する生徒をそのまま4月以降も受け入れる想定クラブ
4. 子どもから大人まで一緒に活動しているクラブ  
例：交流センター等で活動している文化サークル
5. 学校部活動の保護者会が主体のクラブ
6. 今後地域に根差すクラブとして活動するため、新たに立ち上がるクラブ

※5の派生が多く、地域住民を巻き込む想定又は立ち上げに関わっている

## R7実証事業協力地域クラブ

クラブ名	種目	主な活動場所	その他
NExUS tsukuba	バスケットボール	秀峰筑波	
秀峰筑波サッカー一部保護者会	サッカー	秀峰筑波	
Nexus One	ソフトテニス	秀峰筑波	※R8本格稼働
FUMOTO FC	サッカー	大穂	
沼崎少年野球クラブ	野球	豊里	
桜RC	陸上	桜	
桜VC	バレーボール	桜	
つくばシャイニングスターズ	野球	桜	※R8本格稼働
KGD	バスケットボール	春日学園	
つくばジュニアソフトテニスクラブ	ソフトテニス	春日学園・研究学園	
きりのはジュニアソフトテニスクラブ	ソフトテニス	吾妻	
Do Soccoer Club	サッカー	竹園東	

クラブ名	種目	主な活動場所	その他
高山VC	バレーボール	高山	
筑波GT	野球	学園の森・高山	
東光台SC	サッカー	学園の森	
Re:birthバドミントンクラブ	バドミントン	研究学園	※R8本格稼働
手代木VC	バレーボール	手代木	
手代木ジュニアソフトテニスクラブ	ソフトテニス	手代木	
つくばFC	サッカー、陸上、卓球、バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール、野球、ハンドボール、剣道	谷田部東・荃崎・高崎	
みどりのSCC	サッカー、野球、陸上、卓球、剣道、ソフトテニス、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ハンドボール、ダンス	みどりの学園・みどりの南	
つくばジュニアウインドオーケストラ	吹奏楽	香取台	

# ジュニアスポーツ・芸術文化活動団体

クラブ名	種目	主な活動場所	その他
桜VC	バレーボール	桜中学校、松代小学校、栄小学校	年会費：2,000円
高山バレーボールクラブ	バレーボール	高山中学校	入会費：4,000円、月会費2,000円
SPARKLE	バレーボール	市内小中学校	月会費：2,000円程度 ※別途遠征時は実費のみ集金
SVBS	バレーボール	市内小中学校	月会費：3,000円程度
みどりのソフトテニスクラブ (みどりのSTC)	ソフトテニス	谷田部中学校、谷田部テニスコート	月会費：2,000円 ほか保険代など
つくばジュニアソフトテニスクラブ	ソフトテニス	春日学園体育館、武道場、 春日学園テニスコート、葛城公園 テニスコート	入会金1,000円、スポーツ保険800円、 少年団登録料1,000円、月会費、大会参加費別途
Nexus One	ソフトテニス	筑波北部公園、台山公園、大池公園など	月会費：3,600円～
TOYOSATO GRASSHOPPERS	バスケットボール	豊里中学校体育館	月会費：10,000円予定
ENTREGA	バスケットボール	高山中学校、上郷小学校、香取台小学校	月会費：6,000円
岡田道場 キックボクシング教室	キックボクシング	つくばウェルネスパーク、つくば市働く婦人の家、 つくば市ふれあいプラザ	月会費：6,000円
さくら弓道クラブ	弓道	谷田部総合体育館弓道場、筑波大学弓道場	月会費：500円 実費（施設使用料・大会参加費など）
つくば空手	空手	竹園東中学校武道場	月会費：4,000円（週1回）、7,000円（週2回）
つくばテコンドー道場	テコンドー	竹園東中学校武道場	月会費：5,000円前後 道具：道着12,000円前後 保険代年間：1,000円前後 大会参加費：5,000円前後
筑波ジュニアオーケストラ	吹奏楽	つくば市内（主につくば市稲岡の施設）	上半期 20,000円 下半期 20,000円 その他定演演奏会費、合宿費別途
みどりのSCC	みどりのエリアを中心とした部活動地域展開クラブ	みどりの学園、みどりの南小中学校の学校施設	年会費：6,600円（入会月で変動） 月会費：5,500円

費用負担に係る整理

費目	定期	国方針	負担者想定(補助対象)
指導者人件費	○		国・市・参加者
指導者講習受講費	○		参加者(市)
指導者資格取得費			参加者
指導者資格更新費	○		参加者(市)
指導者交通費	○		参加者
保険加入費	○	自己負担	参加者
種目に係る消耗品費	○	実費負担	参加者(市)
種目に係る備品費		実費負担	参加者(市)
大会参加費			参加者
会場費	○		参加者(市)
大会等への交通費(バス等)			参加者(市) ※中体連大会は市が拠出している現状あり
運営に係る人件費	○		国・市・参加者
運営に係るシステム利用料等の諸経費	○		国・市・参加者

# 運営体制について







# 役割

市

委託

委託

統括運営事務局

活動実態把握・連携

再委託

スポーツ部門

芸術文化部門

## 各エリア主体の設置及び運営支援

### 【活動に関すること】

- ・活動内容の集約及び広報
- ・兼職兼業の教職員の雇用手続き及び派遣の調整
- ・学校及び保護者からの総合連絡窓口（ハラスメント対策含む）
- ・生徒からの意見徴収による各エリア主体と活動配備の調整

### 【団体管理】

- ・地域クラブの認定事務補助
- ・指導者講習会の実施
- ・団体間の交流企画（交流試合等の調整）

### 【事務】

- ・事務運営費の整理及び各エリア主体へ活動構築に関し再委託
- ・指導者（兼職兼業教職員）の保険加入
- ・国等の補助金の活用
- ・ふるさと納税等の市と連携した資金獲得

非営利法人格  
エリアA

エリアA

管理・運営

活動

活動

活動

認定活動

活動

活動

活動

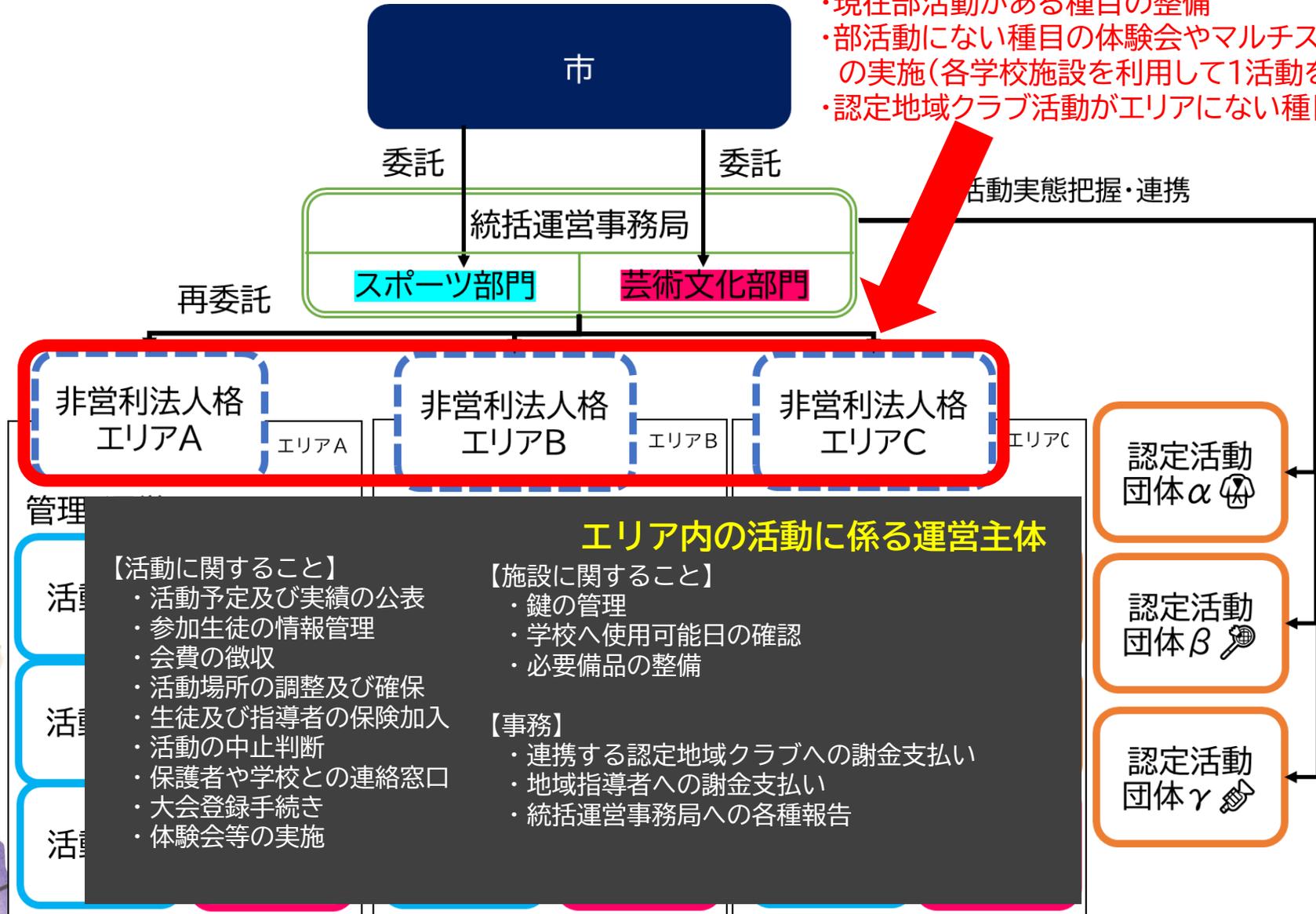
活動

活動

# 役割

## 認定要件を満たす主体の配置

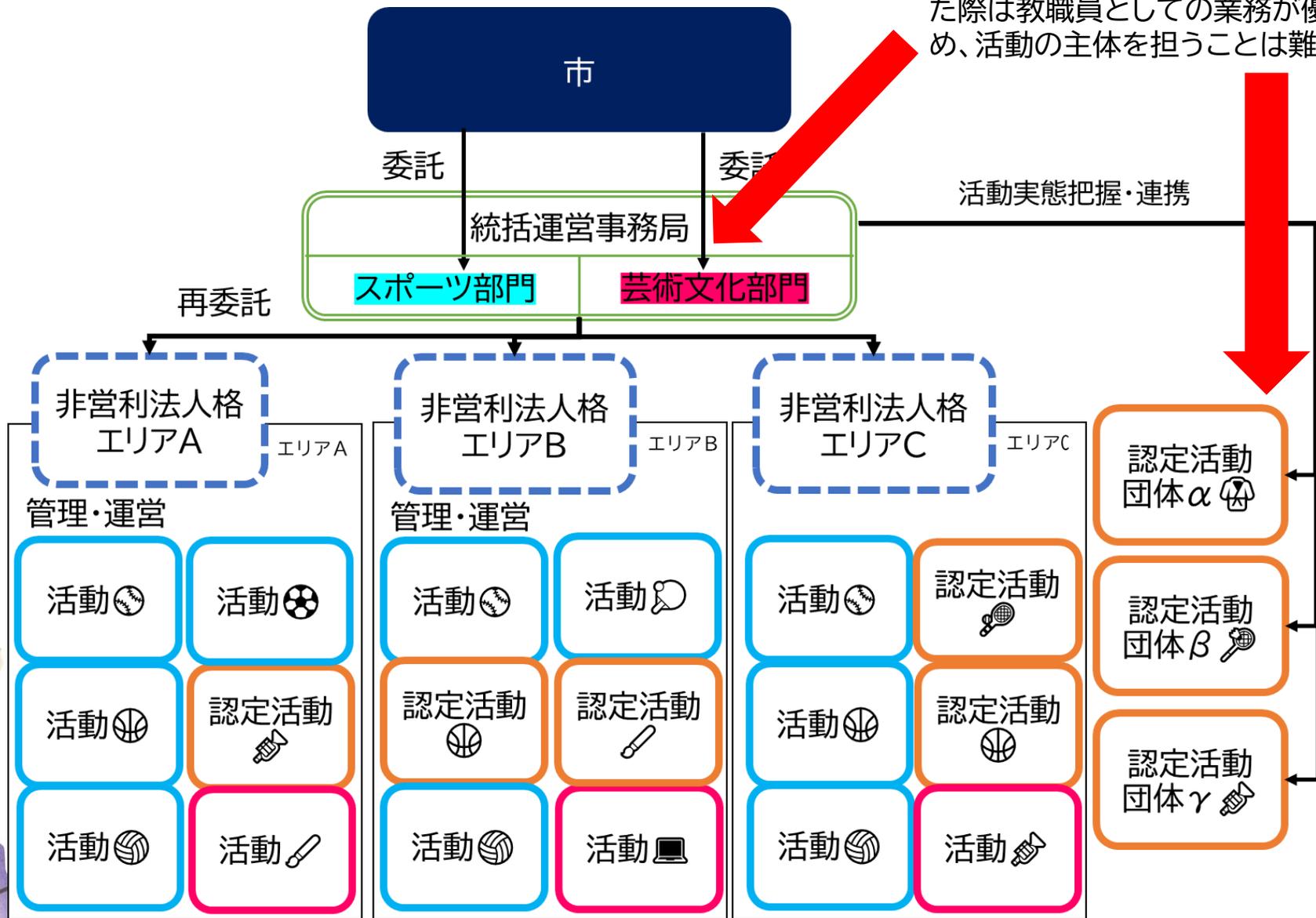
- ・現在部活動がある種目の整備
- ・部活動にない種目の体験会やマルチスポーツ活動等の実施(各学校施設を利用して1活動を検討)
- ・認定地域クラブ活動がエリアにない種目優先



# 兼職兼業の教職員取り扱い

兼職兼業を希望する教職員はいずれかを選択して所属する

※国ガイドラインによると、教職員としての業務と地域クラブ活動における業務が重なった際は教職員としての業務が優先となるため、活動の主体を担うことは難しいと想定



## 費用負担に係る整理

### ■国が示した受益者負担の費用

土曜又は日曜のいずれかを活動日とし月4日程度の活動実施で

**1,000～3,000円**

※地域の実情、実施体制、実施回数、競技種目等の特性により数100円～月額4,000円程度とすることも含めた多様な設定がありうる

※費用は、保険料や用具等の実費負担分は含めず、指導者や運営に係る活動に係る費用のみをいう

### ■実証事業における費用負担

市では、国の実証事業委託費から指導者謝金

1,700円×土曜又は日曜1日×4時間×3名×週を各クラブへ支払っている

(例1)

みどりのSCC 週4回 年会費6,000円+実費 月会費5,500円

【参考資料2】 みどりのSCC費用負担整理(簡易版)

(例2)

荳崎地域クラブ 週1回(年20回まで) 年会費3,000円(実費分) 月会費2,500円

# 費用負担に係る整理

※ 本資料の内容は予算成立前の検討案につき、予算の成立状況等により変更する可能性があります。



## メニュー① 休日の地域クラブ活動の活動費等の支援（補助単価）

【補助単価（1クラブ活動当たり年額）】

※参加生徒数は、各月の参加生徒数の年間平均で算出する（小数点以下は切り上げ）。

		月4回程度活動	月3回程度活動	月2回程度活動	月1回程度活動
(1)	参加生徒数27人以上で 指導者を3人以上配置	スポーツ：673千円 文化：691千円	スポーツ：550千円 文化：569千円	スポーツ：427千円 文化：446千円	スポーツ：305千円 文化：323千円
(2)	参加生徒数13人～26人で 指導者を2人配置	スポーツ：576千円 文化：596千円	スポーツ：475千円 文化：494千円	スポーツ：373千円 文化：393千円	スポーツ：272千円 文化：291千円
(3)	参加生徒数5人～12人で 指導者を1人配置	スポーツ：423千円 文化：443千円	スポーツ：356千円 文化：377千円	スポーツ：290千円 文化：311千円	スポーツ：224千円 文化：245千円

※ 事業実施月数（1月に満たない端数を生じたときは、これを1月とする。）が12月に満たない場合には、上記のそれぞれの補助単価に「事業実施月数÷12」を乗じた額（千円未満切り捨て）を補助単価とする。

※ 参加生徒数が27人以上の場合であっても、指導者が2人の場合には（2）の補助単価を、指導者が1人の場合には（3）の補助単価を適用する。  
参加生徒数が13人～26人の場合であっても、指導者が1人の場合には（3）の補助単価を適用する。

※ 参加生徒数が5人未満の地域クラブ活動については、原則として補助対象外とするが、「①山間地、漁業集落、へき地及び離島で実施している場合」、「①のほか、当該補助事業を実施する必要があるとスポーツ庁長官、文化庁長官が認める場合」のいずれかに該当するものについては、補助対象とし、（3）の補助単価を適用する。

※ 複数の指導人材が活動に携わることが困難な場合で、指導者を1人配置とする場合は、市区町村等の職員・コーディネーターや運営団体の職員等による地域クラブ活動の実施主体への巡回指導を適切に実施すること等により、事故防止や暴力・暴言等の不適切な行為の防止を図ること。

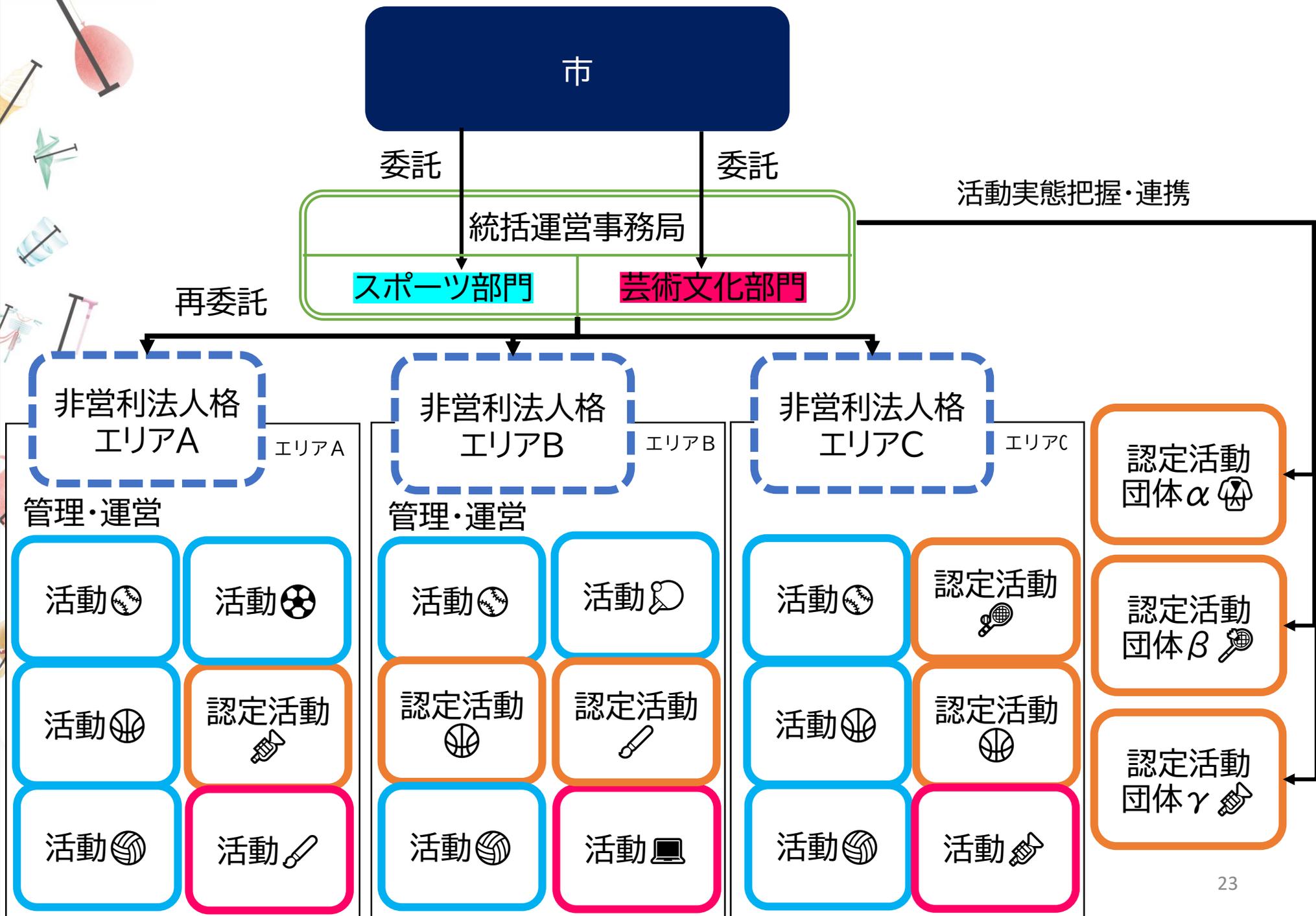
以下編集用





## 認定制度主旨・メリット

組織の中身がわかるように  
認定活動の候補 (★)  
学校開放のルール、  
管理指導員？  
学校、CS、大会の在り方  
土日はリーグ戦をやる



市

委託

委託

統括運営事務局

スポーツ部門

芸術文化部門

再委託

活動実態把握・連携

非営利法人格  
エリアA

エリアA

非営利法人格  
エリアB

エリアB

非営利法人格  
エリアC

エリアC

管理・運営

管理・運営

認定活動

認定活動  
団体 α

認定活動  
団体 β

認定活動  
団体 γ

活動

活動

活動

活動

活動

認定活動

認定活動

認定活動

認定活動

活動

活動

活動

活動

活動

活動

## つくば市地域クラブ認定の要件案

(必須要件)

認定の対象となる地域クラブは、次に掲げる全ての要件を満たす団体とする。

- 1 活動拠点が原則としてつくば市内であること
- 2 生徒の加入について、スカウトや選抜等を行わないこと。
- 3 申請する活動を対象とした、規約等を作成・公表していること。  
規約には少なくとも以下の内容を含めること
  - ・緊急時の連絡体制に関すること
  - ・活動日数及び活動時間に関すること
- 4 年間の活動計画、活動実績について整備、一般に公開すること。また、参加者の出欠状況を管理すること
- 5 毎年度末に会計報告を実施し、会員及び関係者に対して報告すること
- 6 運営者又は指導者として成人が2人以上在籍していること
- 7 指導者や参加する生徒等に対して、自身の怪我等を補償する保険や個人賠償責任保険に加入させていること。
- 8 運営者、指導者は、市が指定する講習を受講すること
- 9 運営者は、所属する指導者が、暴力・暴言・ハラスメント、いじめ、無視等の行為は、許されない行為であることを理解し、自らこうした行為を行わないとともに、参加生徒同士のこうした行為も許さず、以下のいずれにも該当しないと誓約すること
  - ・拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
  - ・暴力団或いは暴力団員を始めとする反社会的勢力等である者、又は、これらの者と社会的に非難されるべき関係等を有している者
  - ・過去に、暴力・暴言・ハラスメント等の行為や、性犯罪歴等があるなど、指導者として不適切な者

## 国の示す要件(要検討)

○月 2~4 回の活動で 1,000~3,000 円程度を目安とした、地域クラブ活動を持続的・安定的に運営していくために必要な範囲で、可能な限り低廉な参加費等が設定されていること

→活動日数がクラブによって違うため、明確な基準として設定することが難しい。目安として記載するか、記載をしないか。

## ○規約に以下の内容を含めること

- ・団体の目的
- ・役員を選任・解任に関すること  
代表、副代表、会計、監事(他の役員と兼ねることはできない)を置くこと
- ・総会の運営など団体の意思決定に関すること
- ・会員の入退会、参加費等に関すること
- ・予算・決算の審議・承認に関すること

→役員、活動日等は内容を確認し、審査できるが、目的等その他の項目は記載することだけを求める必要があるか。

監事(他の役員と兼ねることはできない)という内容が国から示されているが、実態として役員として置かれている団体は少ない。

○運営者、指導者は、市が指定する講習を毎年度受講すること

→国の要件では、毎年受講することとなっている。

毎年受講を必須にする必要があるか。

○活動時間は平日 2 時間程度、休日 3 時間程度、週合計 11 時間程度以内、週 2 日以上  
の休養日を設けること

→教員の働き方改革、子どもの活動の選択肢を増やしたいという趣旨から、つくば市では、平日の休養日を 1 日多く設定して部活動の運営方針を定めている。

地域クラブでも上記趣旨のつくば市の部活動の運営方針を反映させるか。

国：平日 4 日、休日 1 日の練習

市：平日 3 日、休日 1 日の練習

(市独自の要件)

○活動への参加を希望する生徒について安全管理上の合理的な理由がない限り広く受け入れること

→地域クラブに参加できる生徒を制限したクラブを認めるか。

○保険適用の範囲については、活動の最中のみならず、活動場所への移動中や保護者による送迎中に事故等にあった場合にも適用を受けることができる内容のものを検討すること

→保険加入に際し、移動中の事故についての記載をするか。

○団体の構成員のうち1人以上がつくば市立の中学校又は義務教育学校後期課程の生徒であること

→中学生が現時点で所属していない団体を認定するかどうか。

またその人数についてどのように定めるか。

○スポーツ活動の場合、つくば市スポーツ少年団に加入していること  
(年度中に加入すること)

→スポーツ少年団加入を要件とすることにより、以下が期待できる。スポーツ活動の要件とするか。

- ・運営者、指導者がコーチ資格を持っていることが保証されることや、万が一保護者からの通報等でハラスメント等の疑いが生じた際に、スポーツ少年団が持っている既存の調査の仕組みを使うことができる。
- ・スポーツ少年団へ加入している場合は市施設の減免対象となる。
- ・既存の団体管理の枠組みが活用できる。

#### 【参考】

申請に必要な書類(想定)

- ・規約
- ・役員・指導者名簿
- ・加入している保険の証書
- ・ハラスメント、暴言、いじめ等についての誓約書

認定の期間

認定された日から次の年度の3月31日まで(最長2年間)

つくば市  
部活動改革に関するアンケート結果及び  
それを踏まえた提言

イマ.チャレ実行委員会  
事務局：エデュシップ株式会社

## 中学生及びその保護者によるアンケート結果

中学校\_生徒

回答者数 3141名

同意する：3081名 (98.1%)

同意しない：60名 (1.9%)

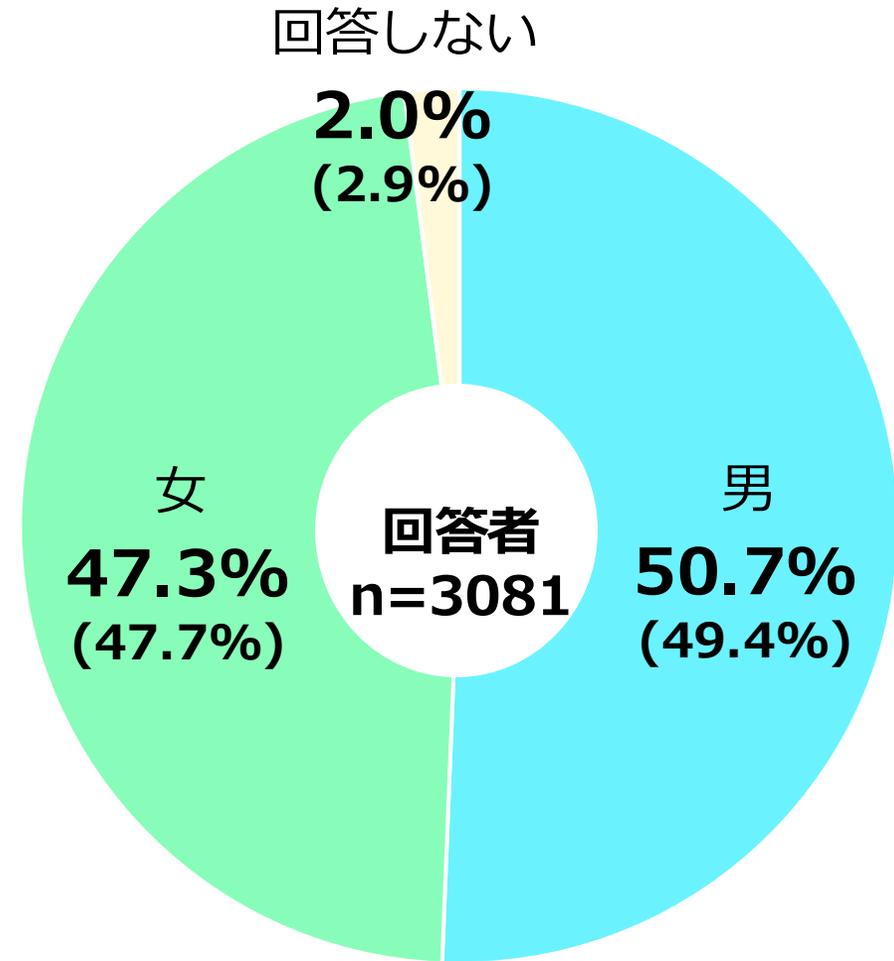
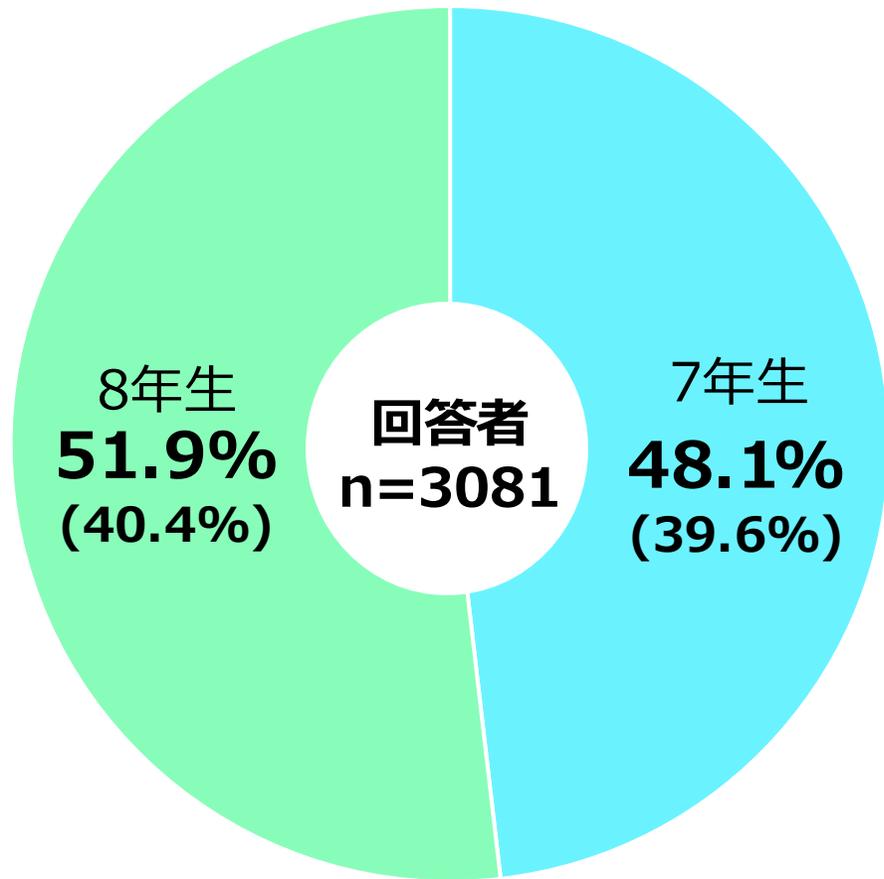
中学校\_保護者

回答者数 1432名

同意する：1428名 (99.7%)

同意しない：4名 (0.3%)

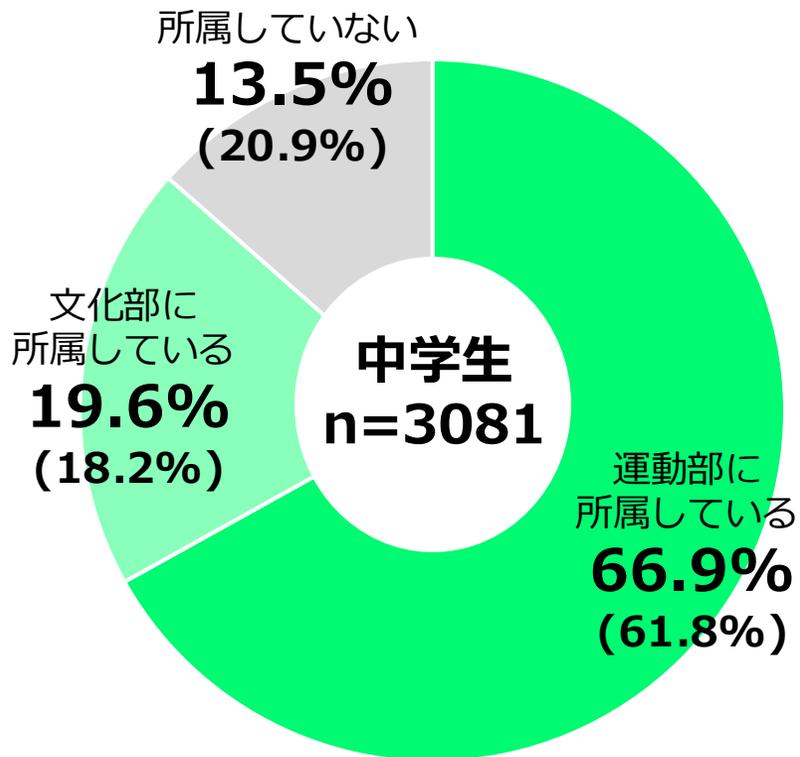
# 回答者属性\_中学校生徒



( )は全国割合

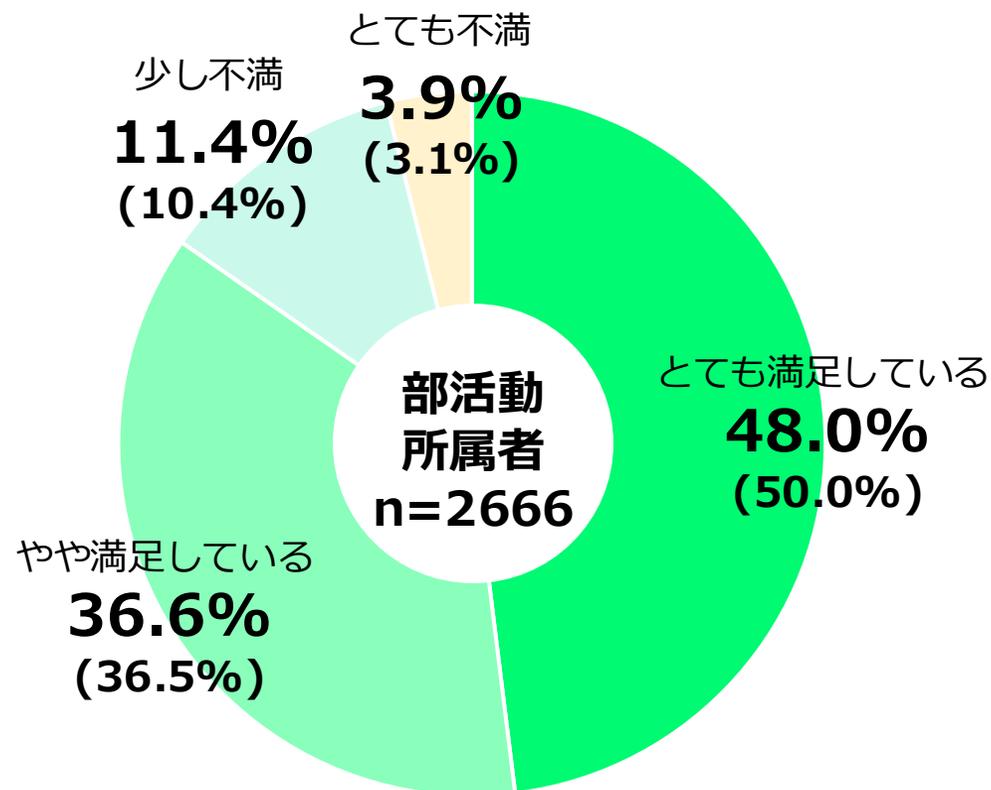
# 部活動における生徒の実態

## 部活動所属状況



全国平均と比べ、部活動の所属している生徒の割合はやや高い

## Q. 今の部活動に満足していますか？



部活動に対する満足度は全国平均と同程度

( )は全国割合

# 部活動における生徒の実態\_平日

## 【日数】

1日	<b>1.4%</b> (1.8%)
2日	<b>2.5%</b> (3.3%)
3日	<b>84.9%</b> (19.1%)
4日	<b>7.5%</b> (54.3%)
5日	<b>2.1%</b> (20.5%)
平日は 行っていない	<b>1.4%</b> (0.8%)

※無効回答：0.2% (0.0%)

( )は全国割合

## 【平均活動時間/日】

0.5時間程度	<b>9.8%</b> (2.2%)
1~1.5時間 程度	<b>61.7%</b> (29.5%)
2~2.5時間 程度	<b>24.9%</b> (61.7%)
3時間以上	<b>2.1%</b> (5.9%)
平日は 行っていない	<b>1.4%</b> (0.5%)

※無効回答：0.2% (0.0%)

つくば市は活動日を平日3日としており、全国平均と比べ活動日数が少なくなっている。

時間についても少ないが、これはアンケート時期（11~12月）の影響が想定される

一方、ガイドラインを超える5日の活動、2時間以上の活動を行っている部活動があるのは要注意である。

# 部活動における生徒の実態\_休日

## 【日数】

1日	<b>79.1%</b> (76.2%)
2日	<b>4.1%</b> (11.1%)
休日は 行っていない	<b>16.3%</b> (12.7%)

※無効回答：0.5% (0.0%)

## 【平均活動時間/日】

0.5時間程度	<b>0.3%</b> (0.4%)
1~1.5時間 程度	<b>3.2%</b> (2.3%)
2~2.5時間 程度	<b>18.2%</b> (26.1%)
3時間以上	<b>61.5%</b> (59.9%)
休日は 行っていない	<b>16.3%</b> (11.3%)

※無効回答：0.5% (0.0%)

全体的に活動日数、時間ともに  
全国平均より少ない傾向がある

一方、平日の活動と同様に  
ガイドラインを超える土日の活動、  
3時間以上の活動を行っている  
部活動があるのは要注意である。

※「活動」がどこまでを指すかの  
定義は検討していく必要がある

( ) は全国割合

# 部活動における生徒の実態

## 今の部活動の良いところ・満足しているところ（複数回答可）

仲の良い友達と一緒に活動できること	60.8%
技術や体力の向上ができること	45.1%
練習を楽しめること	38.6%
新しい友達（先輩・後輩など）をつくれること	31.1%
目標に向かって、やり抜く力が身につくこと	20.8%
礼儀やマナーが身につくこと	15.1%
大会・コンクールで良い成績を収められること	12.8%
放課後を健全に過ごせること	9.6%
勉強との両立ができること	7.1%
リーダーシップを学べること	3.0%
その他	2.9%

今の部活動の良いところとして、60%以上が「仲の良い友達と一緒に活動できること」31%が「新しい友達をつくれること」と回答しており、部活動における「**関係性や繋がり**」の重要性がうかがえる。

⇒ 地域展開においても重要視していくべき要素

次点として「技術や体力の向上ができること」「練習を楽しめること」が続く。

**楽しみながら「技術や体力」を向上させる**ことができる指導（コーチング）が求められる

# 部活動における生徒の実態

## 今の部活動の課題や不満なところ (複数回答可)

課題や不満はない	31.5%
部員数が少ない	21.2%
勉強との両立が難しい	19.2%
活動場所が狭い、または、ない	14.4%
友達や先輩・後輩との関係やチームワークが良くない	13.1%
技術や体力の向上が実感できない (専門的な指導をしてほしい)	8.9%
練習がつまらない	8.8%
部員数が多い	7.4%
自分のしたい活動(趣味等)ができない	7.0%
指導者・コーチの指導が厳しい	6.5%
活動日数や活動時間が少ない	3.8%
指導者・コーチが自分たちの意見を聞いてくれない	3.2%
試合や発表会等に十分に出場できない、させてくれない	2.8%
その他	5.9%

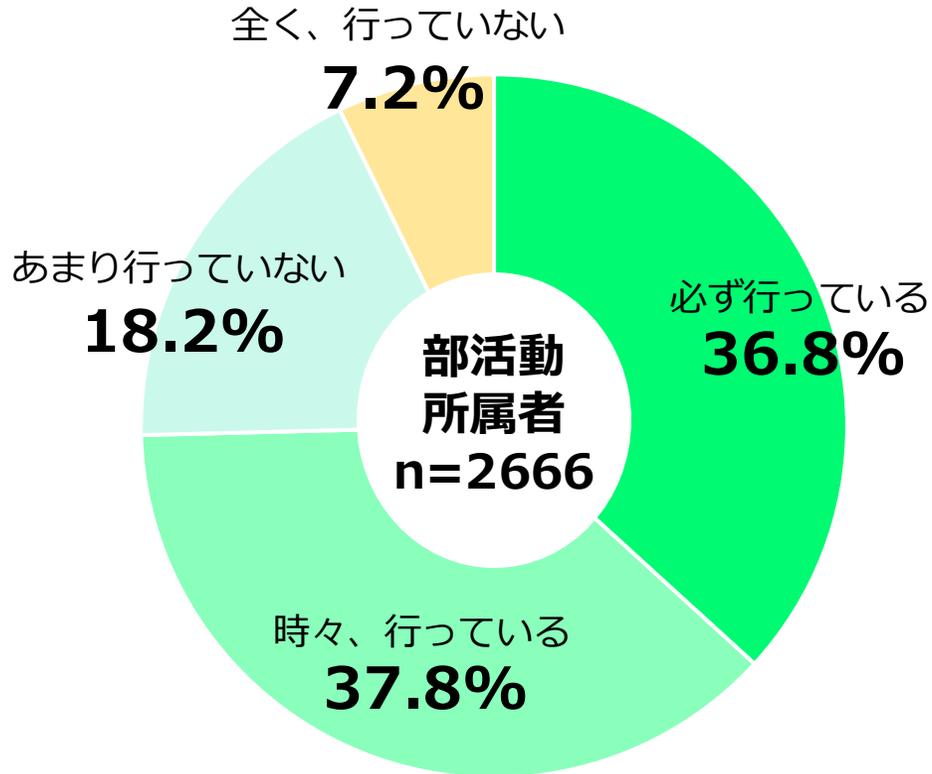
今の部活動の課題や不満として、課題や不満を感じていない生徒が32%いる一方で、課題の最上位は「**部員数が少ない**」となっている。**学校を超えたチームづくり**を通してメンバー数を確保できるようにしていく必要があると考えられる。

また、19%が「**勉強との両立が難しい**」と回答している。活動時間の適正化やニーズに応じた活動の選択肢を提供していく必要があると考えられる。

14%は「**活動場所が狭い、または、ない**」と回答している。特に3学年がいる時はさらに活動場所が限定されているだろう。**活動日や時間を調整することで活動場所を確保**していく方策も必要となる。

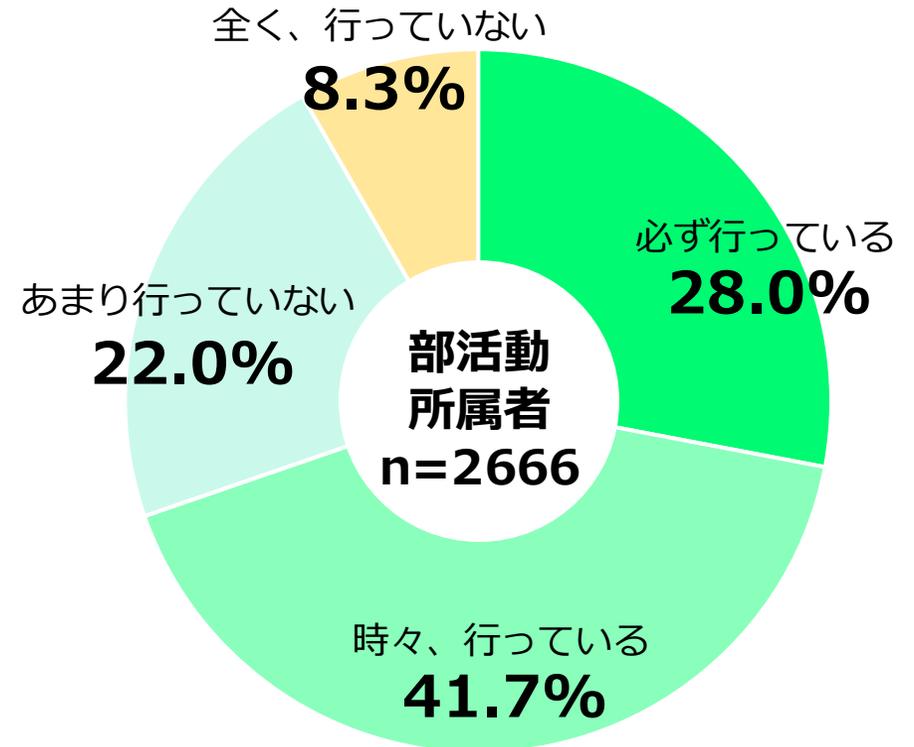
# 部活動における生徒の実態

Q. 部活動をするにあたり、節目となる時期に、チーム全体で活動の目的や目標を話し合ったりしていますか？



75%の生徒が何らかの形で節目となる時期に目的や目標を話し合っている

Q. 日々の部活動をする時に、チームや自分自身で目標を立てたり、活動の振り返りをしたりしていますか？

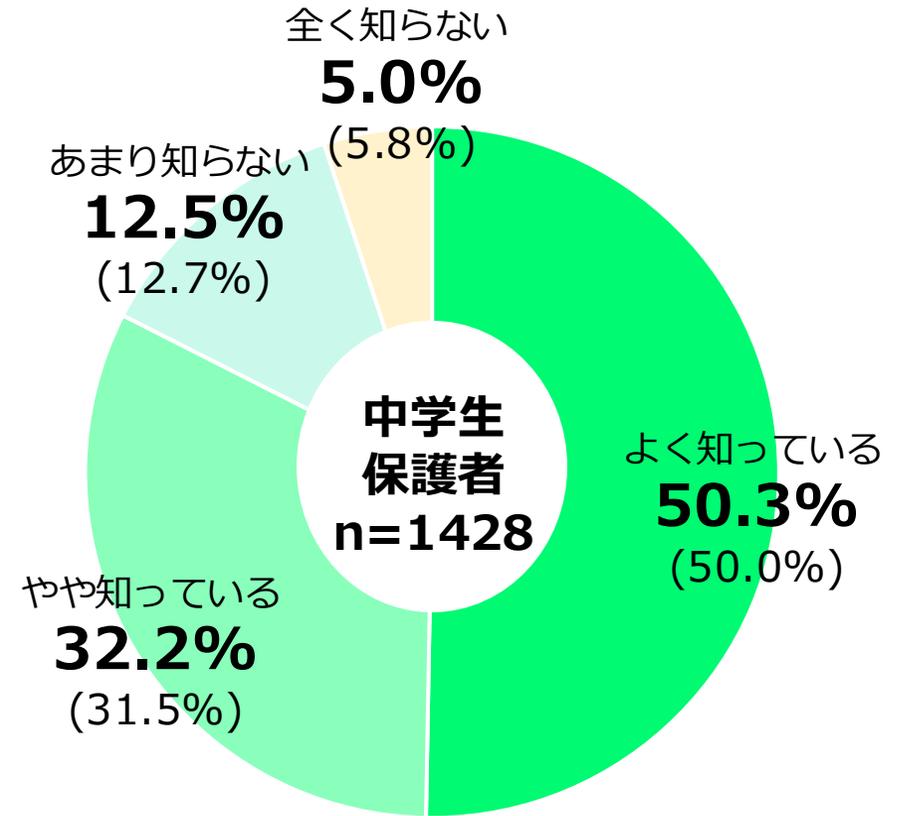
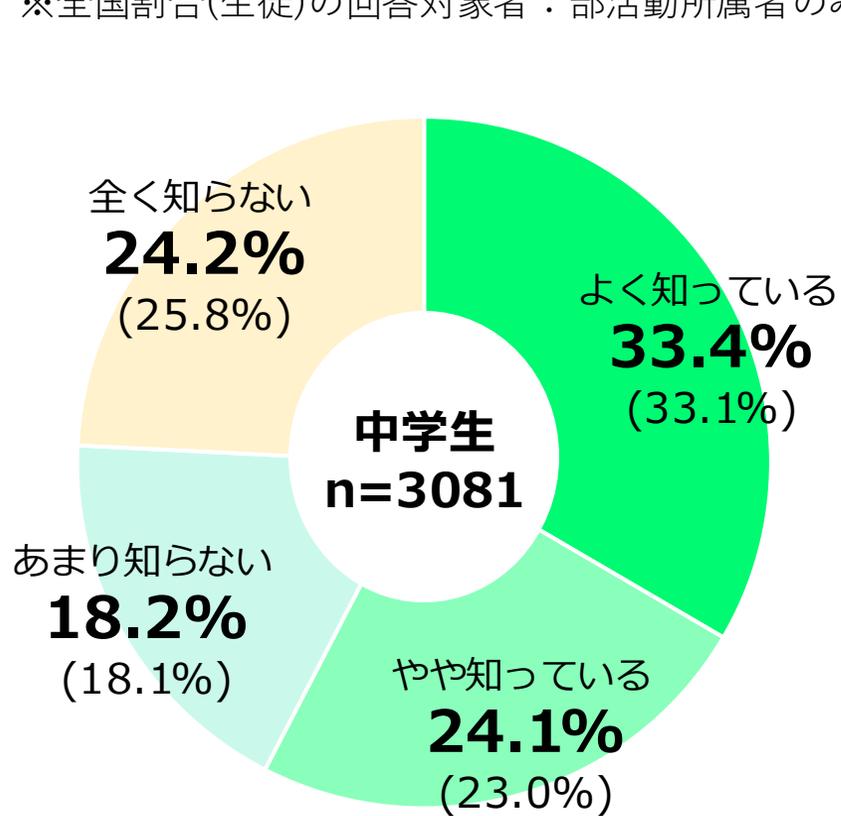


70%の生徒が何らかの形で日々、目標設定や振り返りを行っている

# 学校部活動に対する理解

Q. 先生方の夕方や休日の指導には、全国的にはほとんど給料が出ていないことは知っていますか？

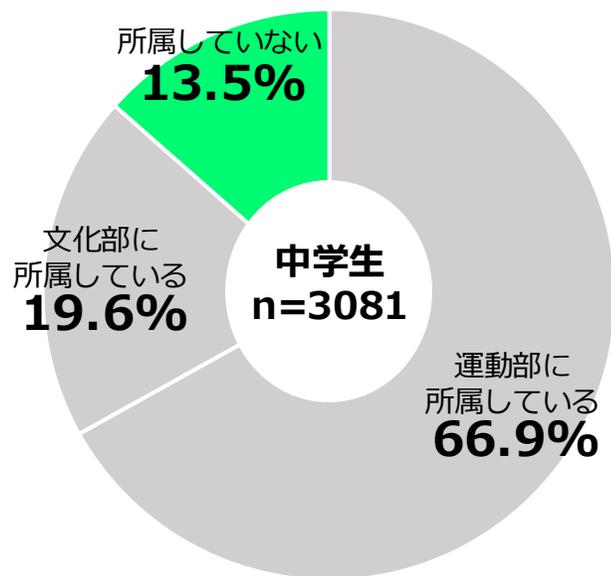
※全国割合(生徒)の回答対象者：部活動所属者のみ



部活指導に関わる教員の待遇について、生徒（58%）・保護者（83%）ともに全国平均と同程度の理解度であった

( )は全国割合

# 部活動における生徒の実態

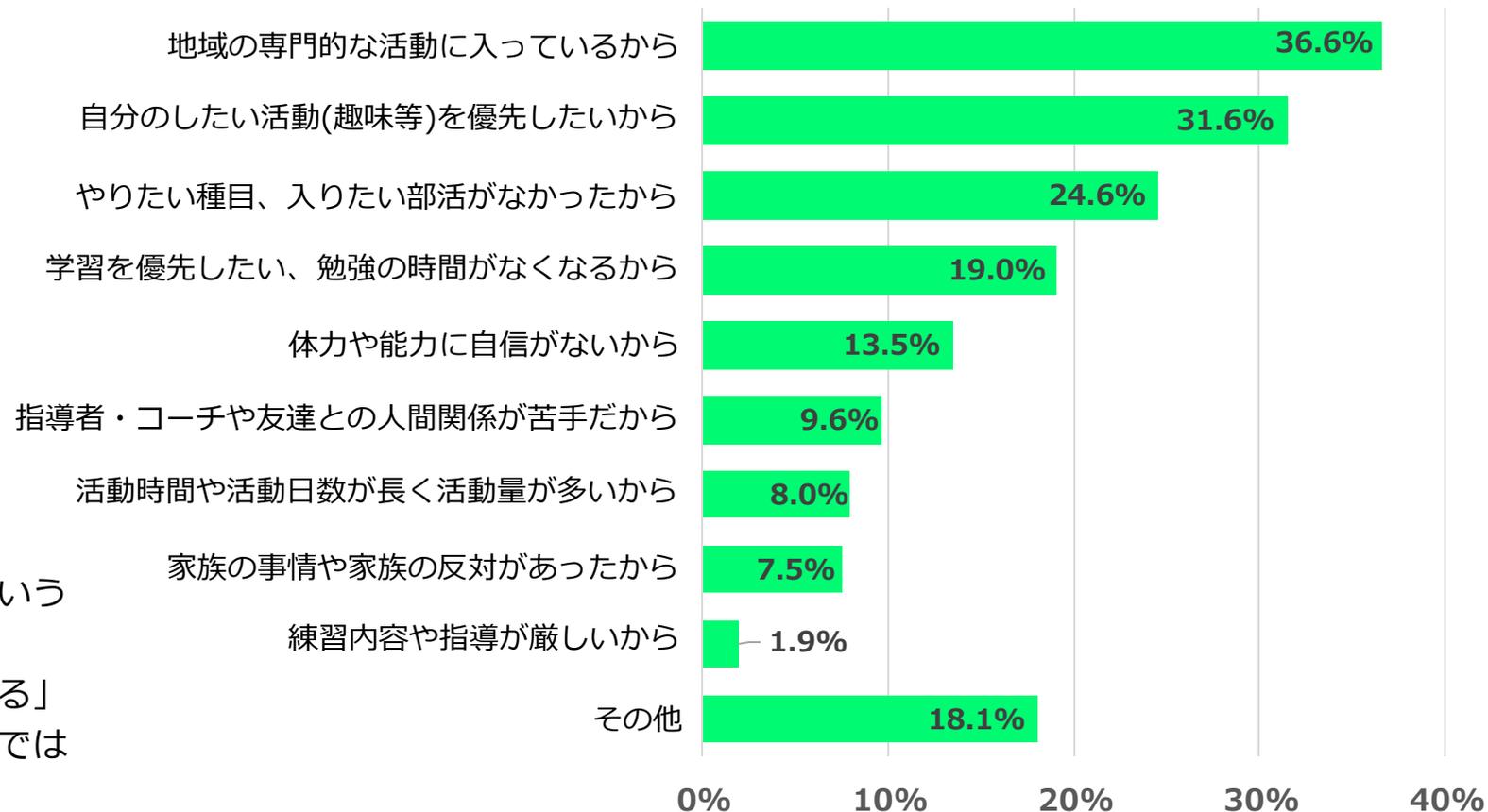


部活動に入らなかった上位の理由として

「専門の活動がある」「趣味を優先したい」という他の活動に取り組んでいる生徒がいる一方で、「やりたい種目がない」「勉強の時間がなくなる」「体力や能力に自信がない」といった環境次第では参加をある生徒もいる

**1種目の年間を通した活動だけでなく、気軽に参加できる活動も活性化していく必要があると考えられる**

## 部活動に入らなかった理由 (複数回答可)



# 部活動地域展開における生徒の意向

やってみたい活動 (複数回答可/上位10活動を抽出)

## 【スポーツ活動】

バドミントン	26.3%
ソフトテニス	14.7%
バレーボール	14.4%
サッカー	14.3%
バスケットボール	14.1%
eスポーツ	11.3%
卓球	9.9%
スキー・スノーボード・アイスホッケー	9.3%
弓道・アーチェリー	9.3%
体操・新体操・ダンス	9.3%

## 【芸術文化活動】

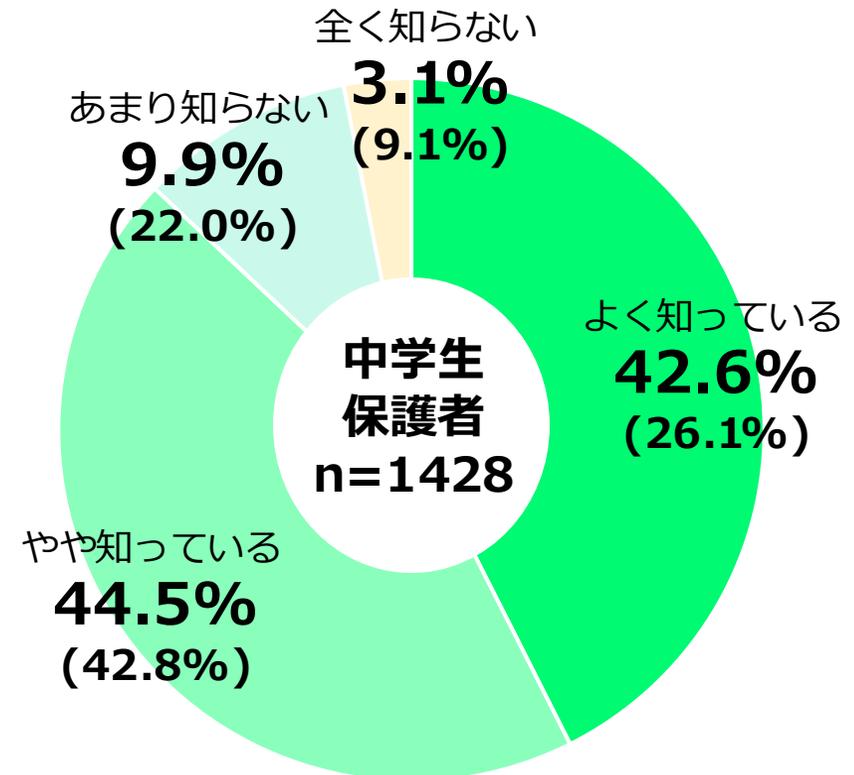
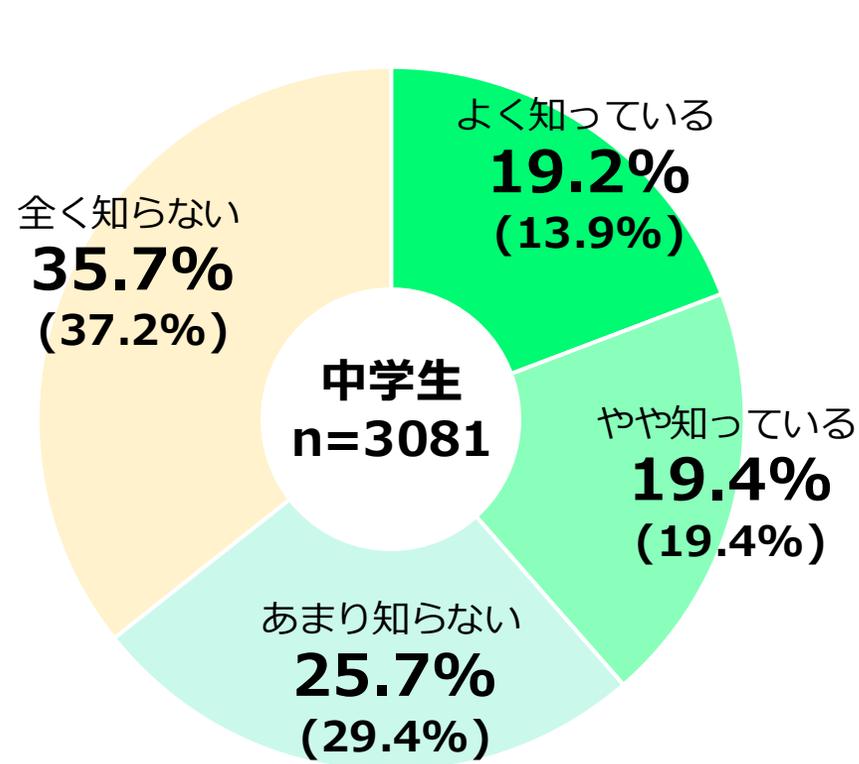
楽器演奏 (吹奏楽、ギター等)	8.3%
料理・お茶	6.9%
職業体験	4.8%
動画編集	4.6%
美術 (絵画・彫刻等)	4.1%
合唱・歌唱	3.7%
技術・パソコン・プログラミング	3.0%
宇宙・天文観察	2.7%
ボランティア活動	2.6%
演劇・人形劇	2.5%

生徒のニーズ (やってみたい種目) をもとに地域活動体制を作っていく必要がある  
特に、**バドミントン**は市内でも部活動が少なく、今後新たな受け皿づくりが求められる

# 部活動地域展開に対する理解

Q. 現在、スポーツ庁・文化庁では、令和7年度末を目標に休日（土日、祝日）の部活動の地域移行を推進しています。そのことについて知っていますか？

※全国割合(生徒)の回答対象者：部活動所属者のみ

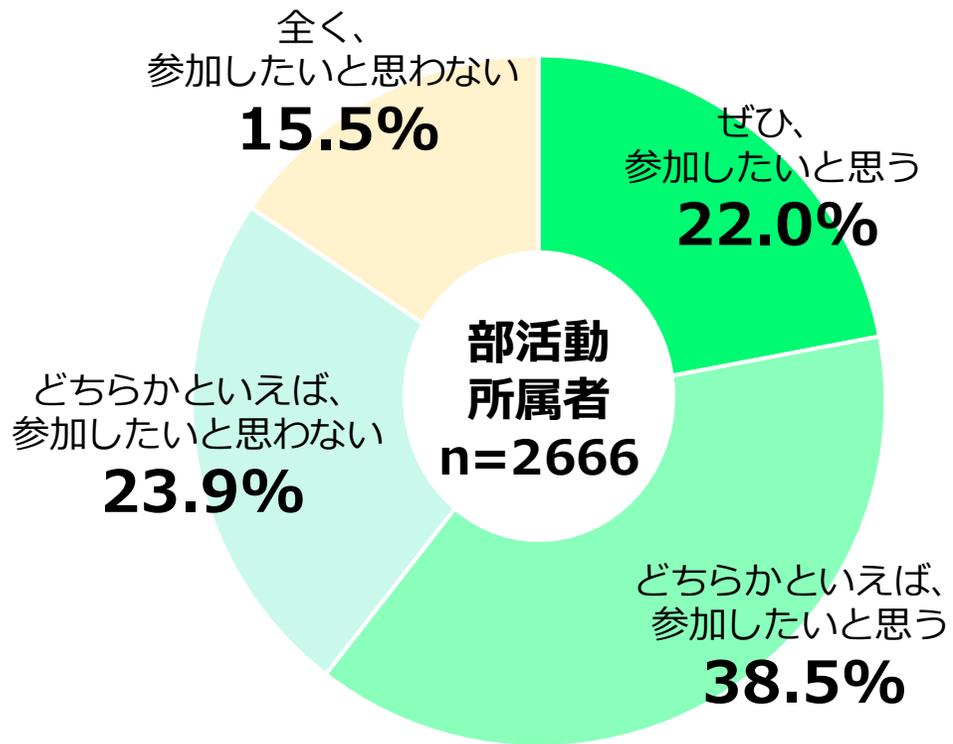


保護者の認知は進んでいる。一方、全国平均より高いものの、子供（生徒）に対する部活動地域展開に関する周知に力を入れていく必要があると考えられる。

( )は全国割合

# 部活動地域展開に関する意向

Q. もし、週1回（土日どちらか一日）部活動の代わりに地域で文化・スポーツ活動を行うことができるとしたら、参加したいと思いますか？

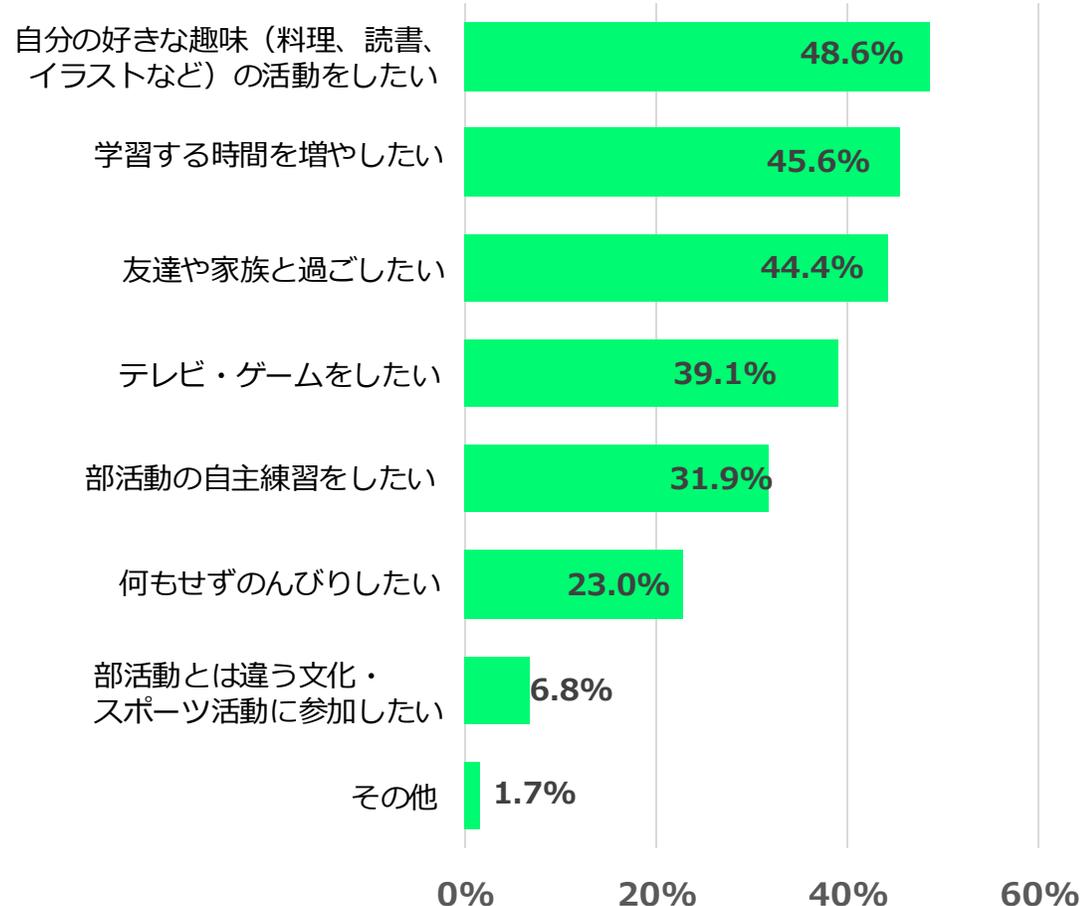


地域展開後の活動に参加したいと思う生徒の割合は多い（61%）。

一方で、39%は後ろ向きな回答をしている。

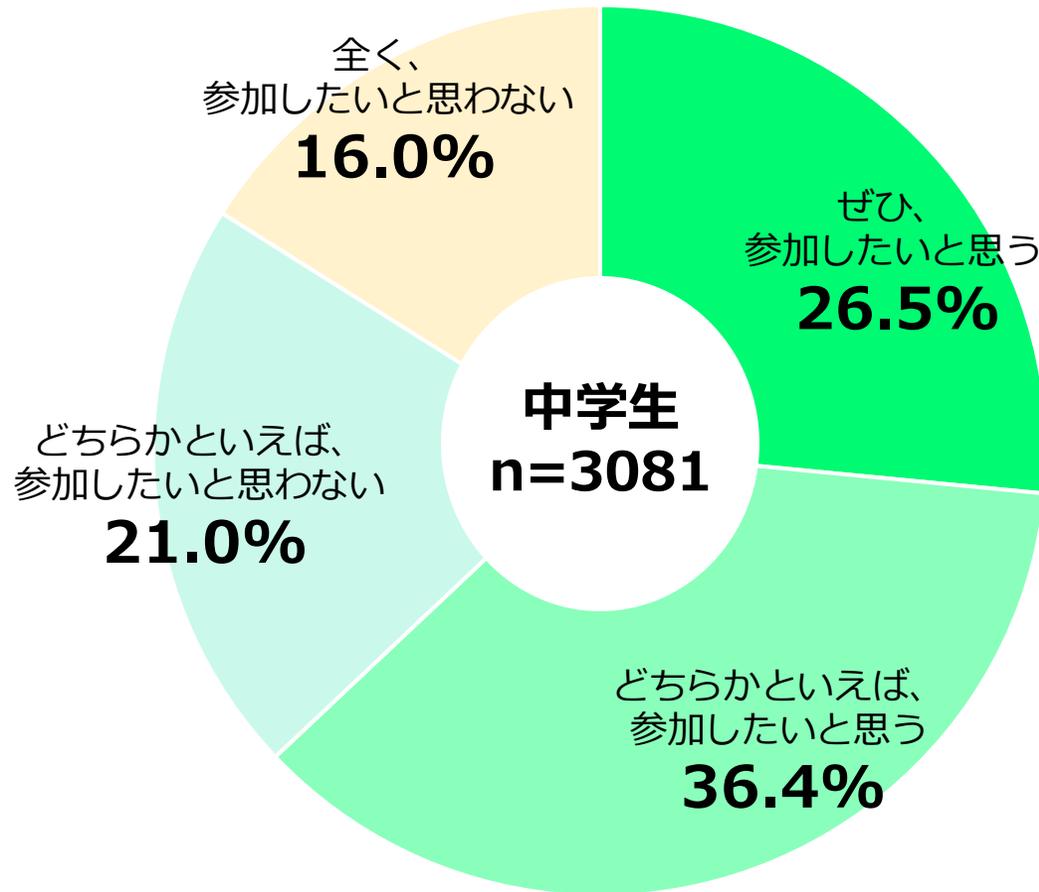
地域の活動に参加することにネガティブなのか、そもそも休日の活動が必要ないと思っているかは更なる検討が必要が必要である

Q. もし、現在の部活動の活動量（時間や日数が今より少なくなったとしたら、その時間で何がしたいですか？（複数回答可）



# 希望する芸術文化・スポーツ活動

Q. 同じ地域で、別の学校の生徒と文化・スポーツ活動をしてみたいと思いますか？

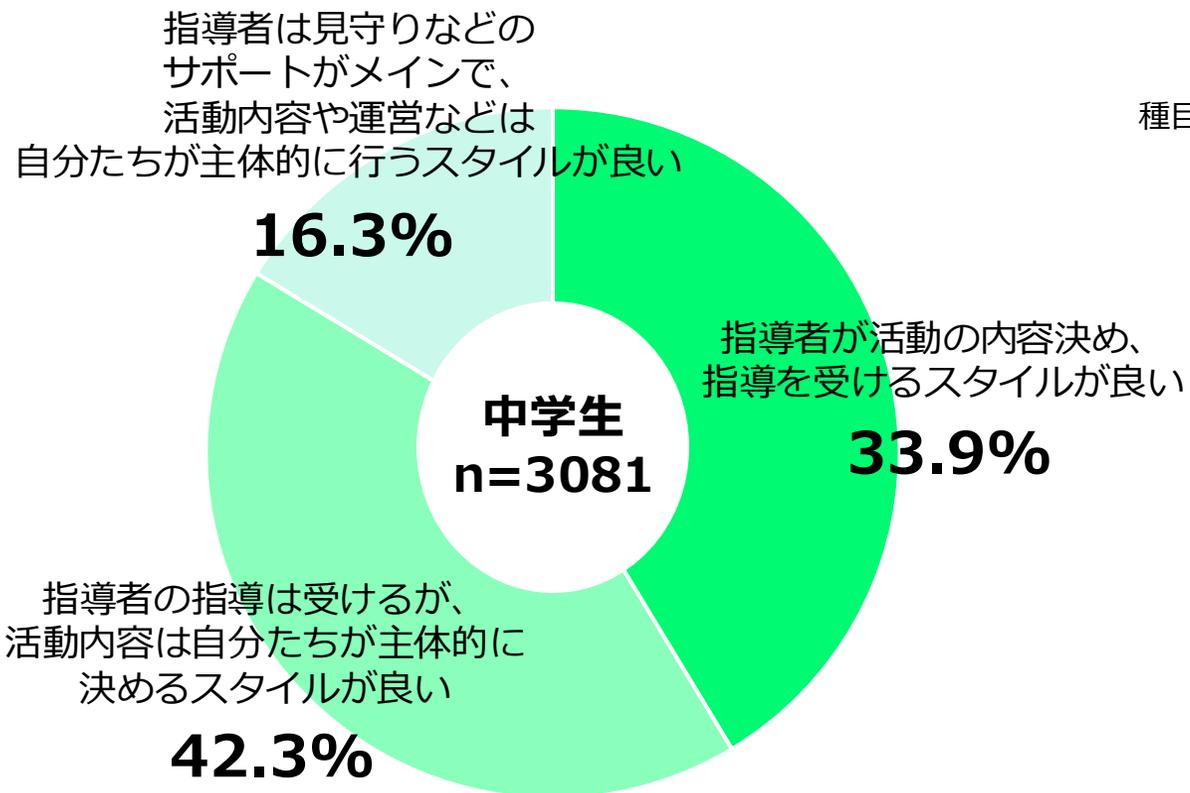


63%の生徒が別の学校の生徒と文化・スポーツ活動をしてみたいと考えている。運動部に参加している割合が67%のため、大半の生徒は地域で別の学校の生徒と文化スポーツ活動をすることに前向きであることが推察される。

一方、37%が後ろ向きな回答をしている。本アンケートは文化部や部活動未所属の生徒も含まれるため、彼らの回答が本回答にも含まれることが予想されるが詳細な理由（他の学校に行くことが嫌なのか、そもそも活動すること自体が嫌なのか）については、本アンケートでは明らかになっていないため今後、詳細なヒアリング等を実施し、ニーズの把握をしていく必要がある。

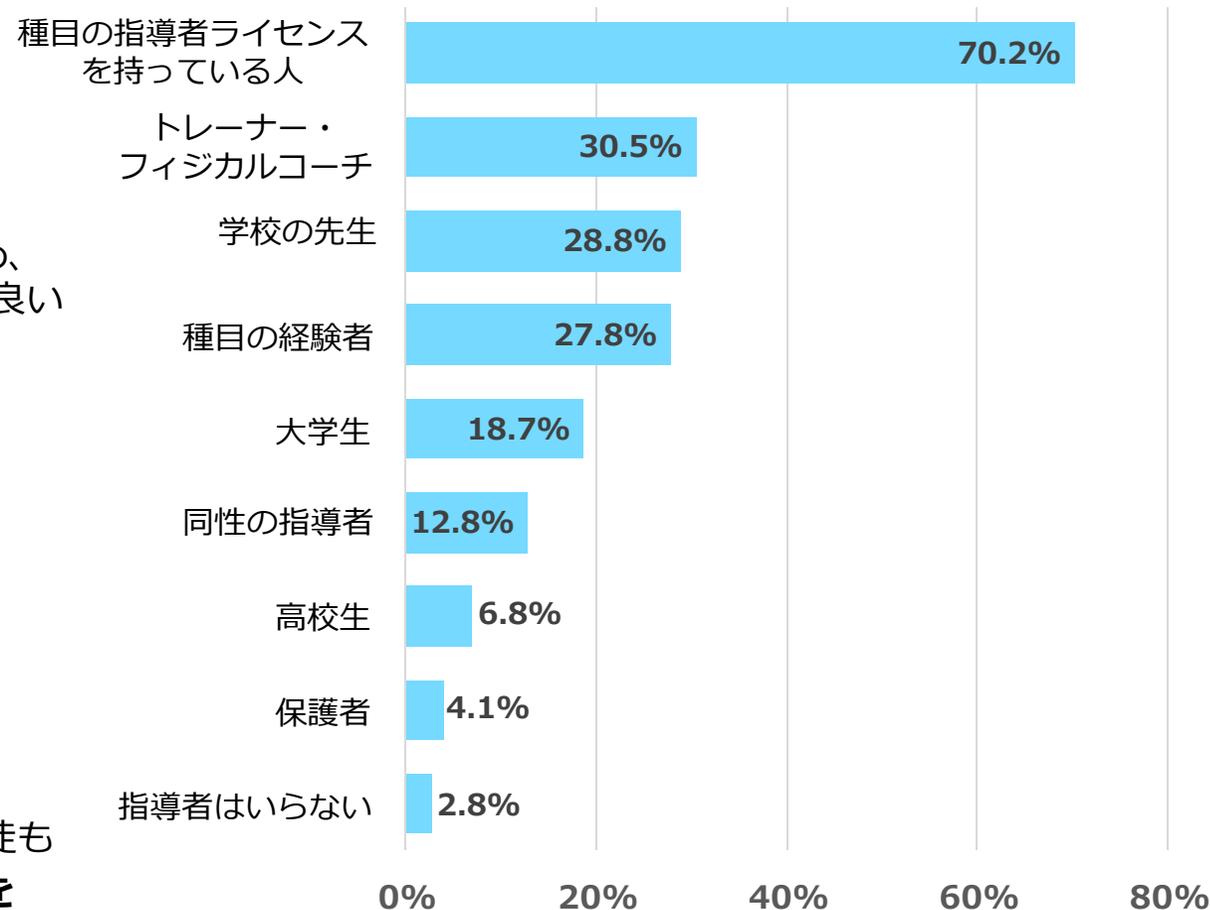
# 希望する芸術文化・スポーツ活動

Q. どのような指導スタイルを望んでいますか？



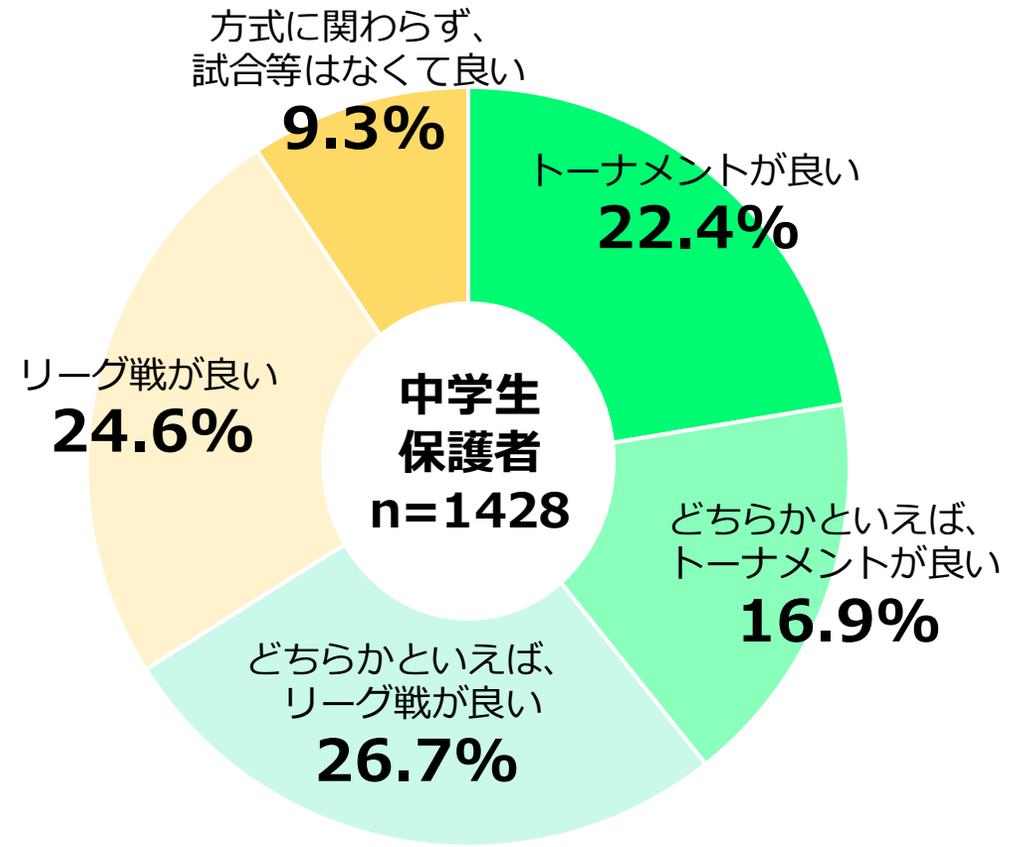
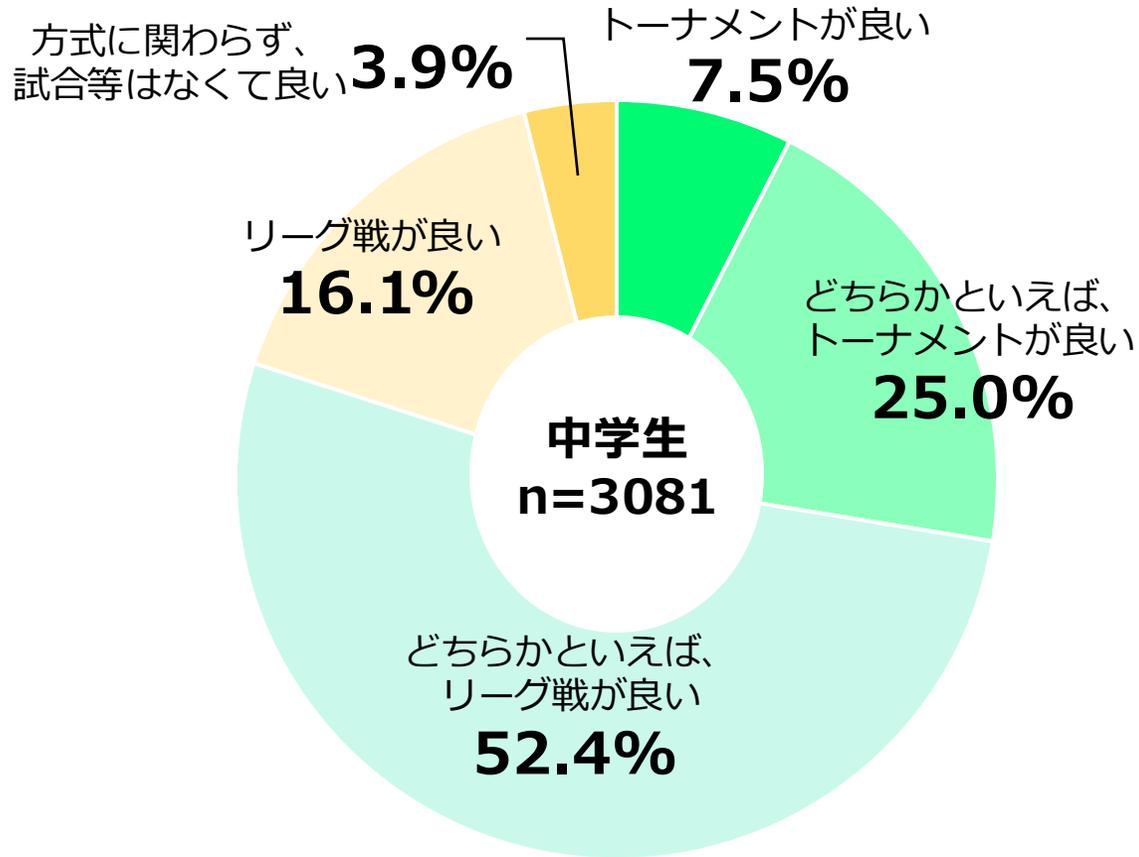
自分たちが主体的に活動内容を決めていくスタイルを望んでいる生徒が多い(42%)一方で、指導者が決定することを望んでいる生徒も34%以上いる。また、指導者としてライセンスを有していることを望む生徒が70%以上いることは指導者育成の点から念頭に置く必要がある。

Q. どのような指導者に指導してもらいたいのか？



# 希望の大会形式について

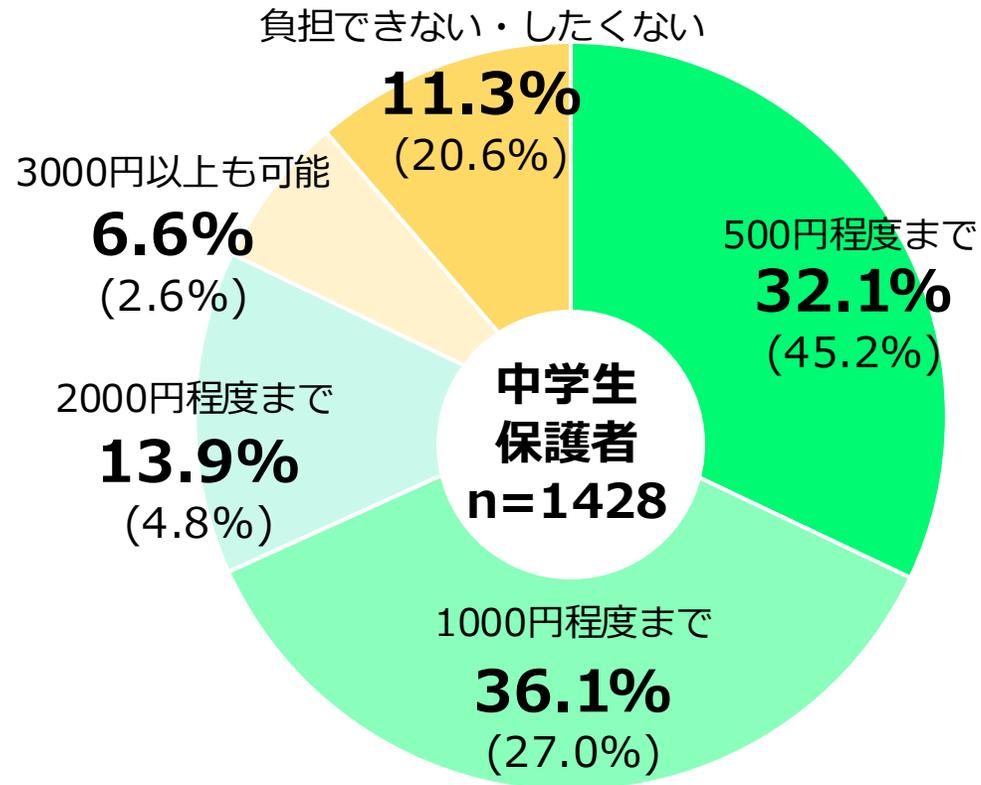
Q.参加するスポーツ等の大会（競技会）の方式として、トーナメント方式（勝つと次の試合ができる）と、リーグ戦方式（勝敗に関わらず数試合できる）と、どちらが良いと思いますか。



生徒の多く（69%）はトーナメントよりリーグ戦を望んでおり、それは保護者が考えているより多い。  
新たな大会のあり方としてリーグ戦を主体としたかたちを構築していく必要がある。

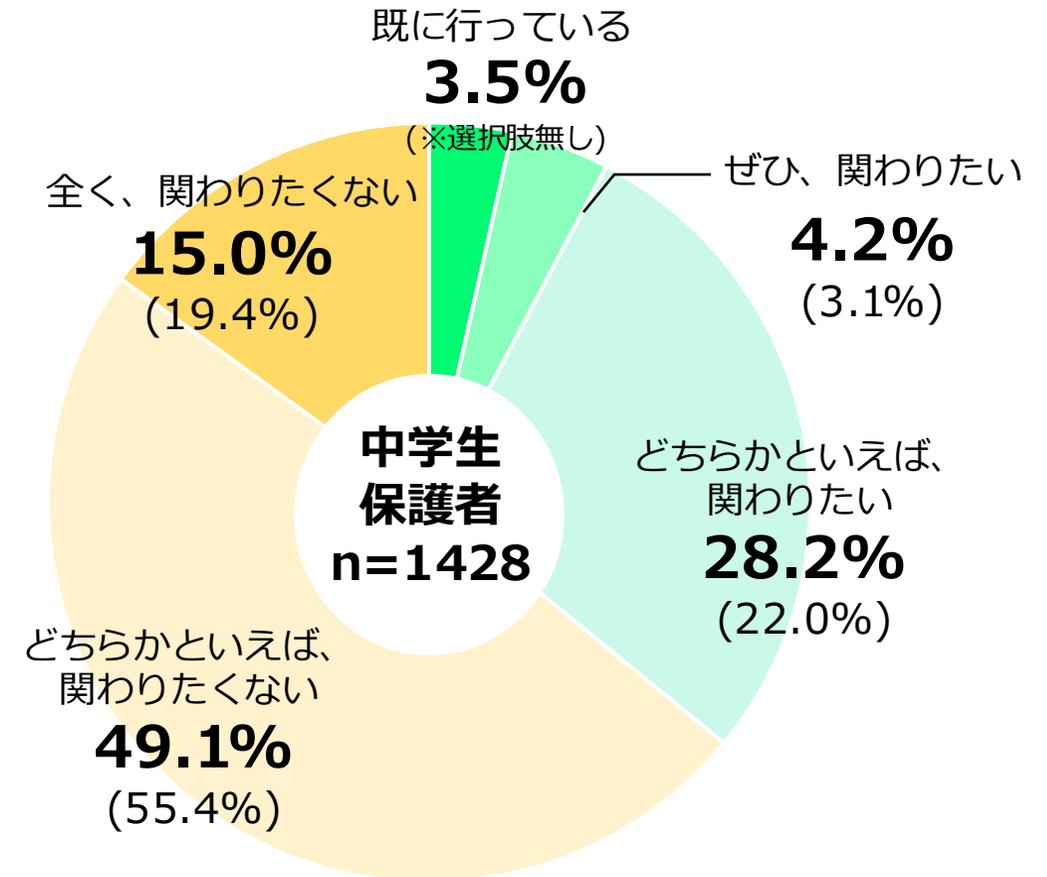
# 子どもの芸術文化・スポーツ活動における支援

Q.もし、週一回（土日のどちらか一日）、部活動の代わりに地域で文化・スポーツ活動を行うことができるとしたら、1回あたりいくらくらいを負担できますか？



1回あたりの負担許容額の平均は1,000円程。全国平均より高く、出費に対する許容度が高い

Q.お願いされたら、地域の文化・スポーツ活動に指導者や見守り、サポーターとして関わりたいと思いますか？



36% (514名) の保護者が地域の活動に既に関わっている、または関わることに前向きであり、地域人材として活用が期待できる

## 小学生及びその保護者に関するアンケート結果

今後、部活動改革の当事者になっていく現小学校高学年の児童とその保護者の意見は改革の指針となる貴重な意見である。彼らの意見をもとに現在の部活動の形態に囚われない、より良い活動体制を作っていく必要がある

### 小学校\_生徒

回答者数 5782名

同意する : 5649名 (97.7%)

同意しない : 131名 (2.3%)

回答無効 : 2名 (0.03%)

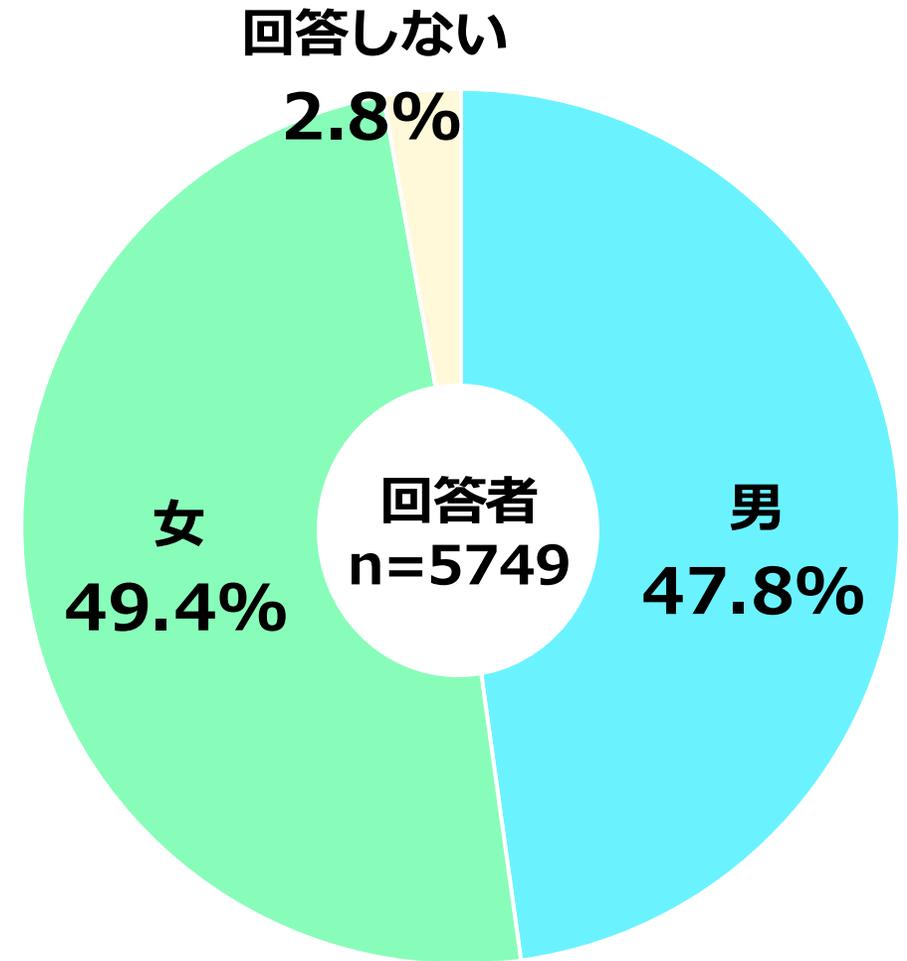
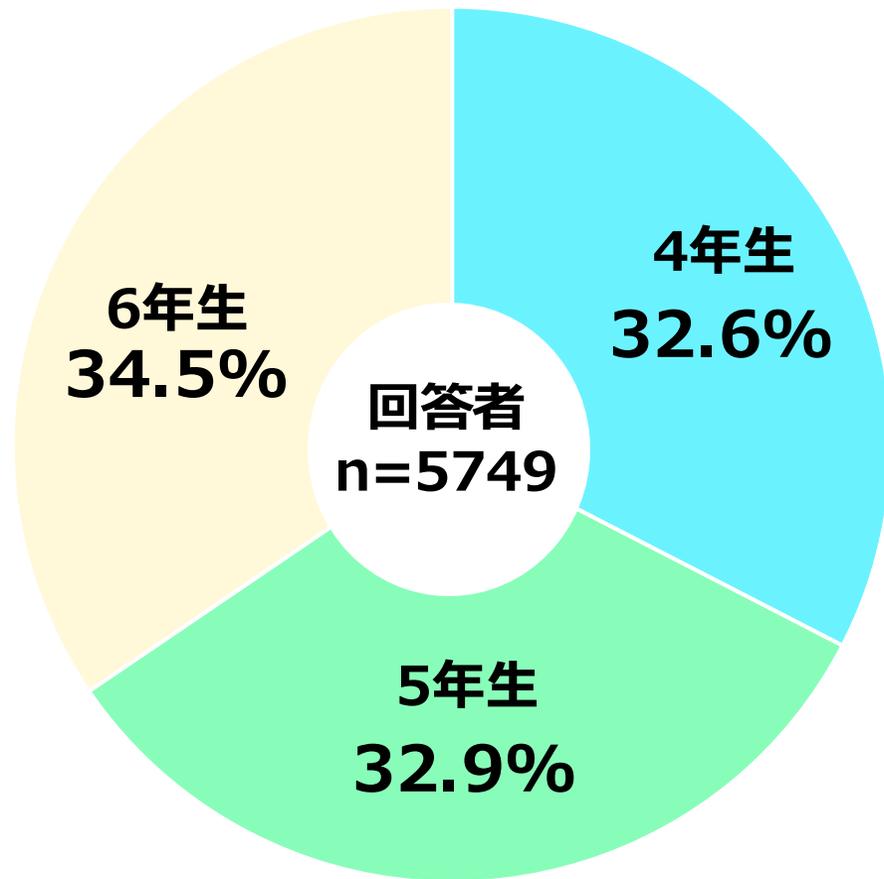
### 小学校\_保護者

回答者数 2430名

同意する : 2427名 (99.9%)

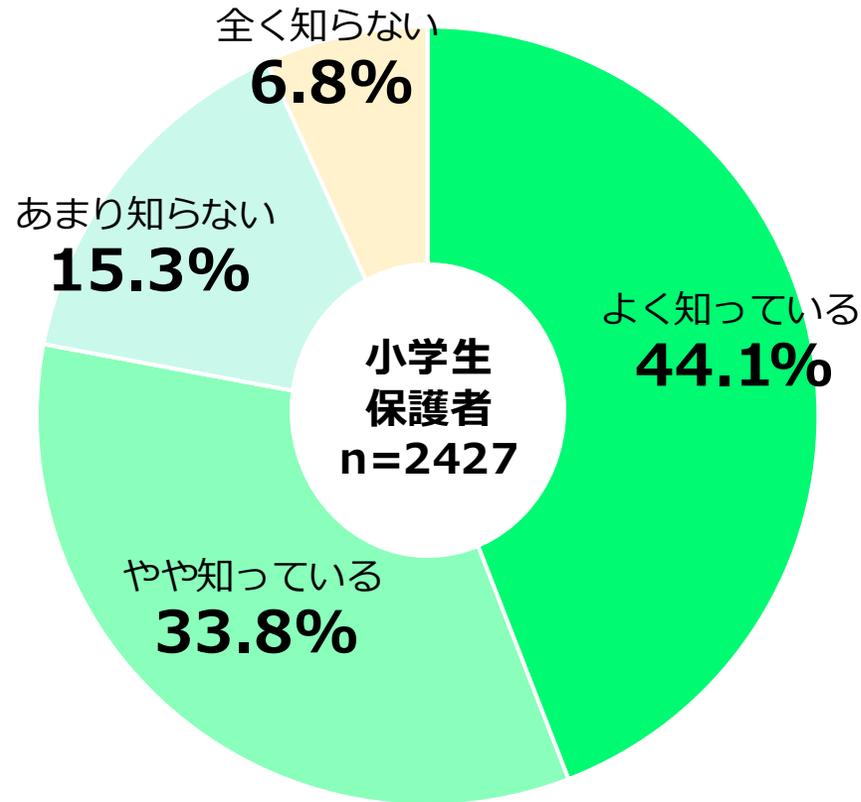
同意しない : 3名 (0.1%)

# 回答者属性\_小学校生徒

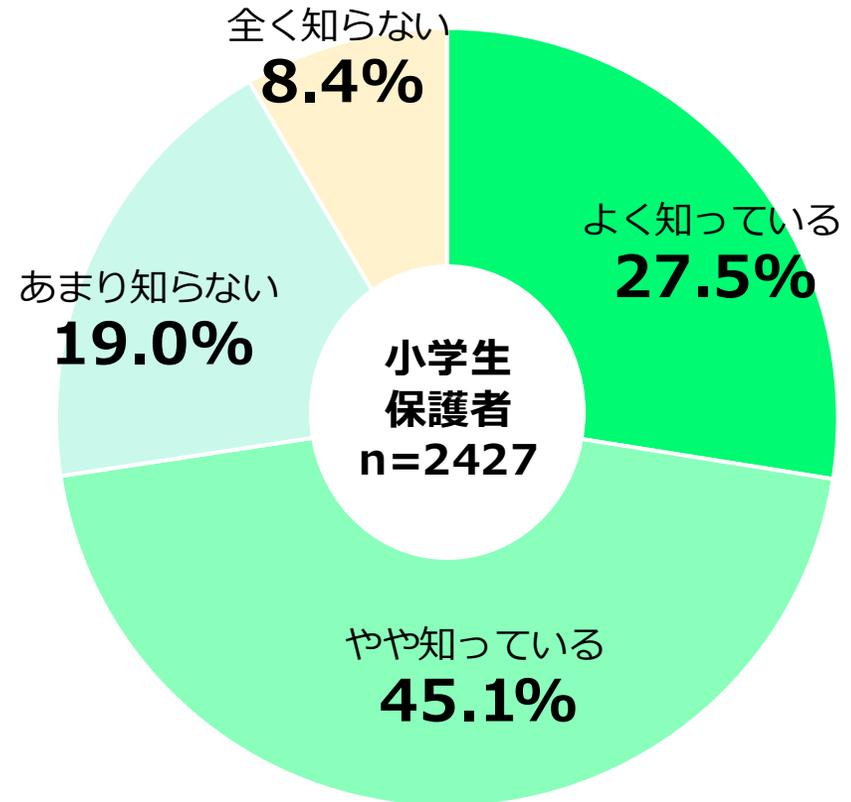


# 部活動地域展開に対する理解

Q. 中学校の部活動を指導する教職員は通常の業務以外で行っています。教職員の夕方や休日の指導には、全国的にはほとんど給料が出ていないことは知っていますか。



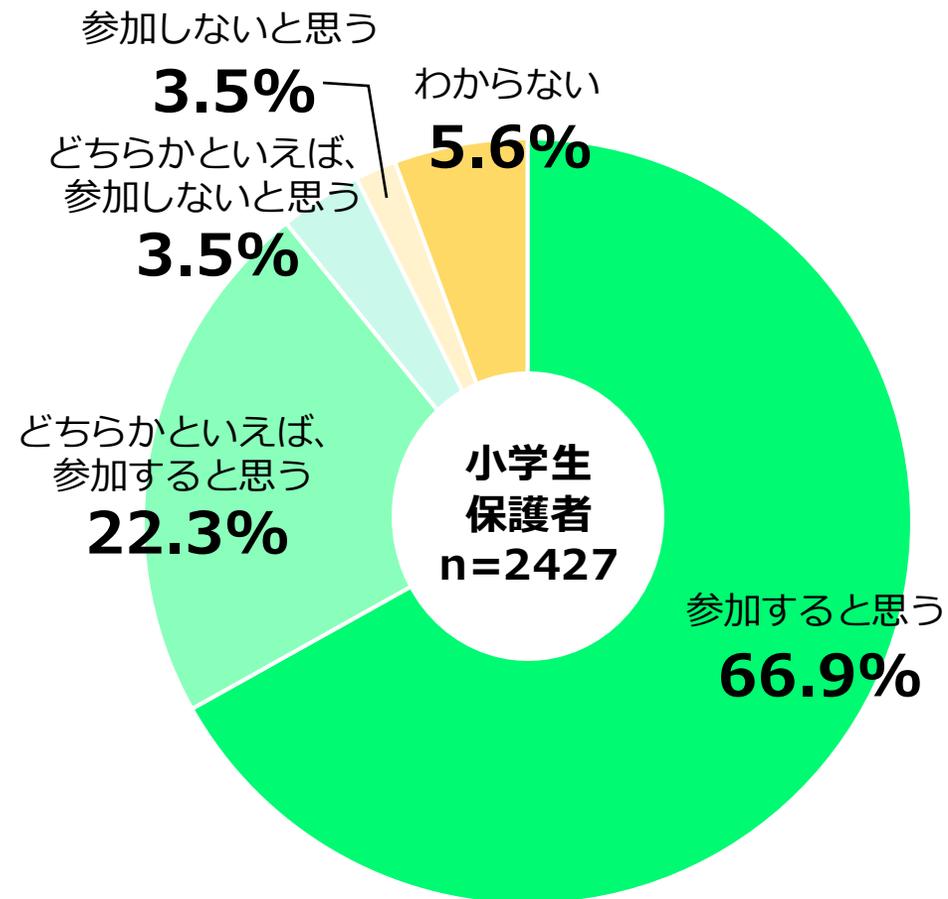
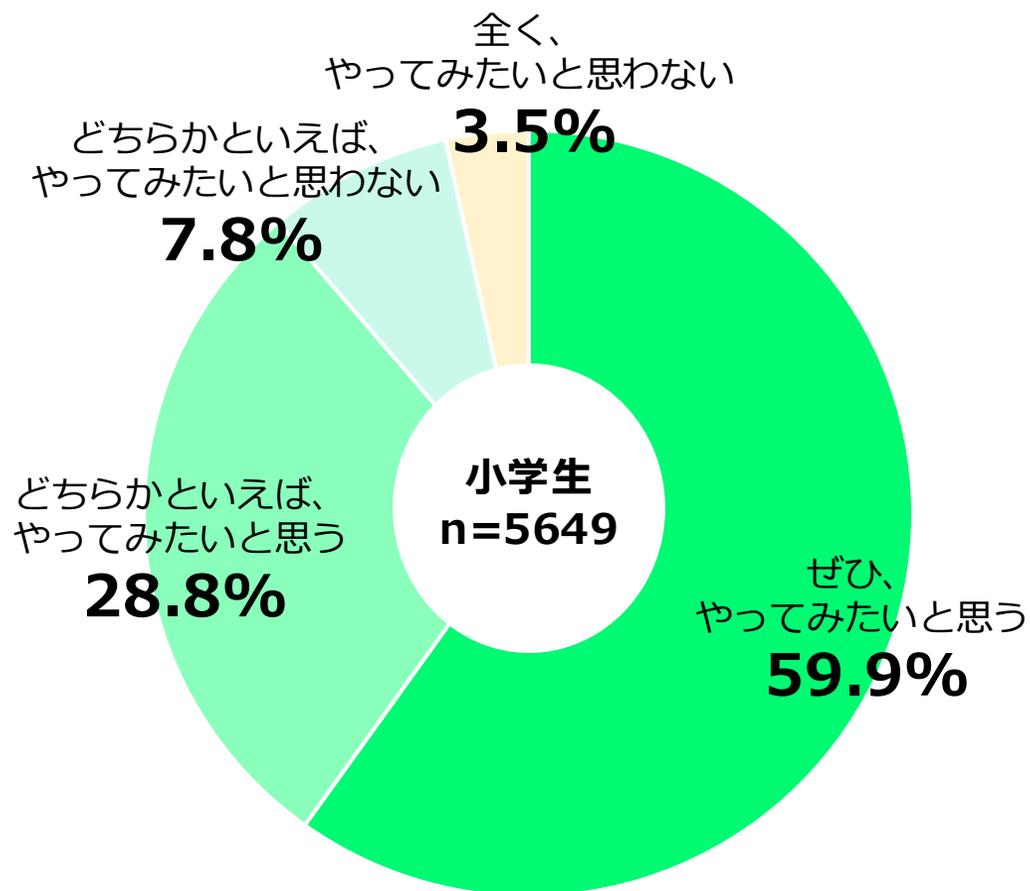
Q. 現在、スポーツ庁・文化庁では、令和7年度末を目標に休日（土日、祝日）の部活動の地域移行を推進しています。そのことについて知っていますか？



小学校保護者の大半は部活動に関する顧問教員の待遇や、部活動地域移行についてはよく認知している

# 芸術文化・スポーツ活動に対する意向

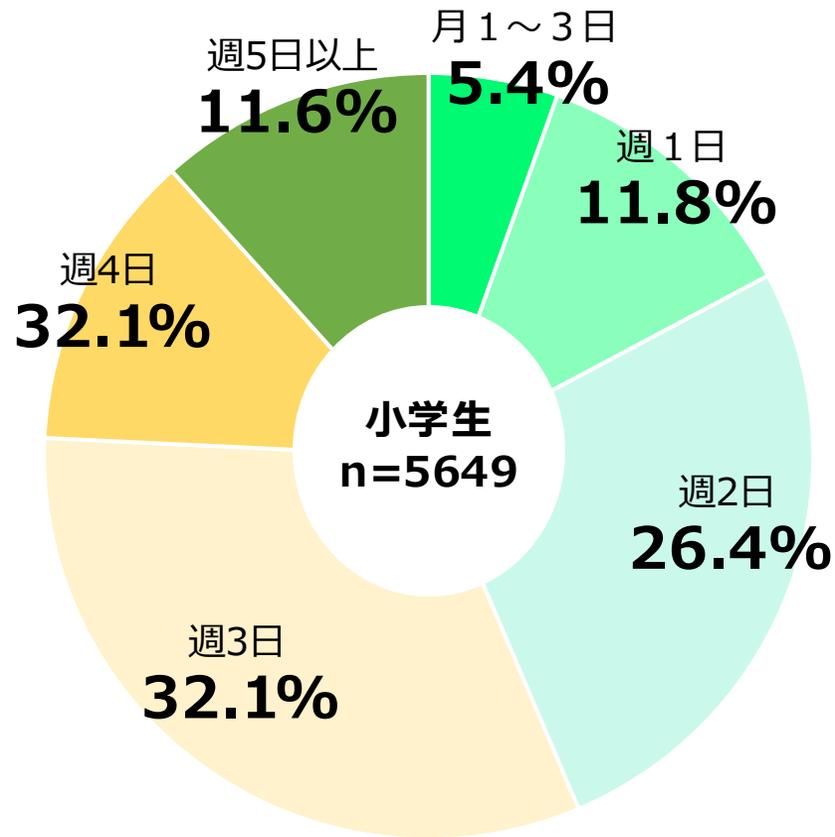
Q.中学生になったら文化・スポーツ活動（部活動もふくむ）に参加したい・参加すると思いますか？



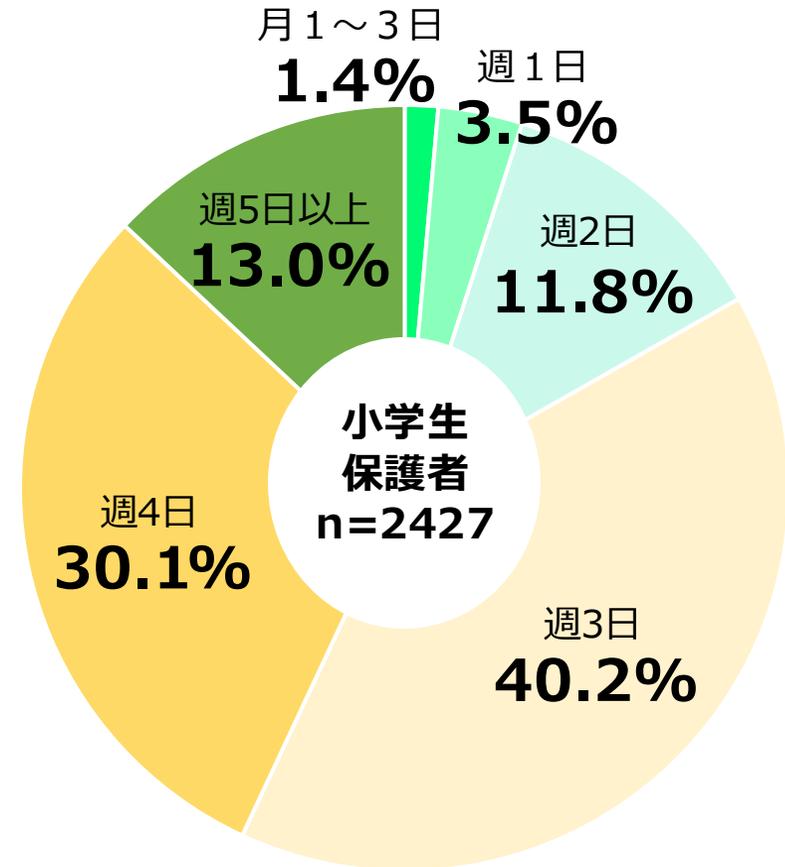
小学校の大半（88.7）は中学生になったら、何からの文化スポーツ活動に参加することを望んでいる

# 芸術文化・スポーツ活動にする意向

Q.中学生では、活動時間が平日は2時間以内、休日は3時間以内が良いとされています。それらの活動をどのくらい行いたいですか？



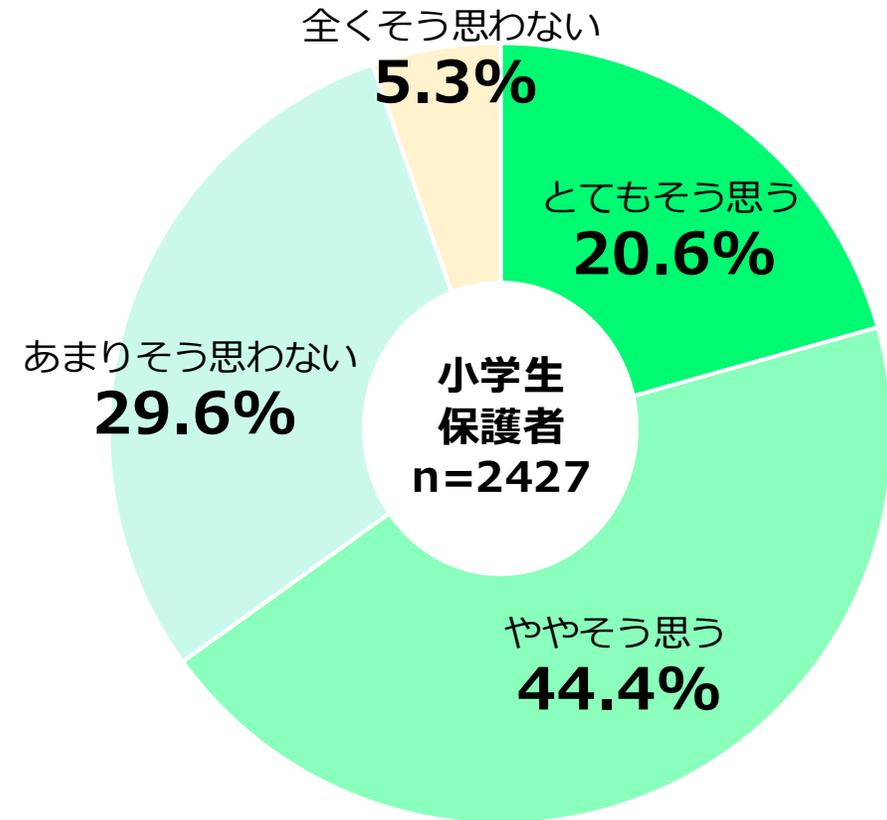
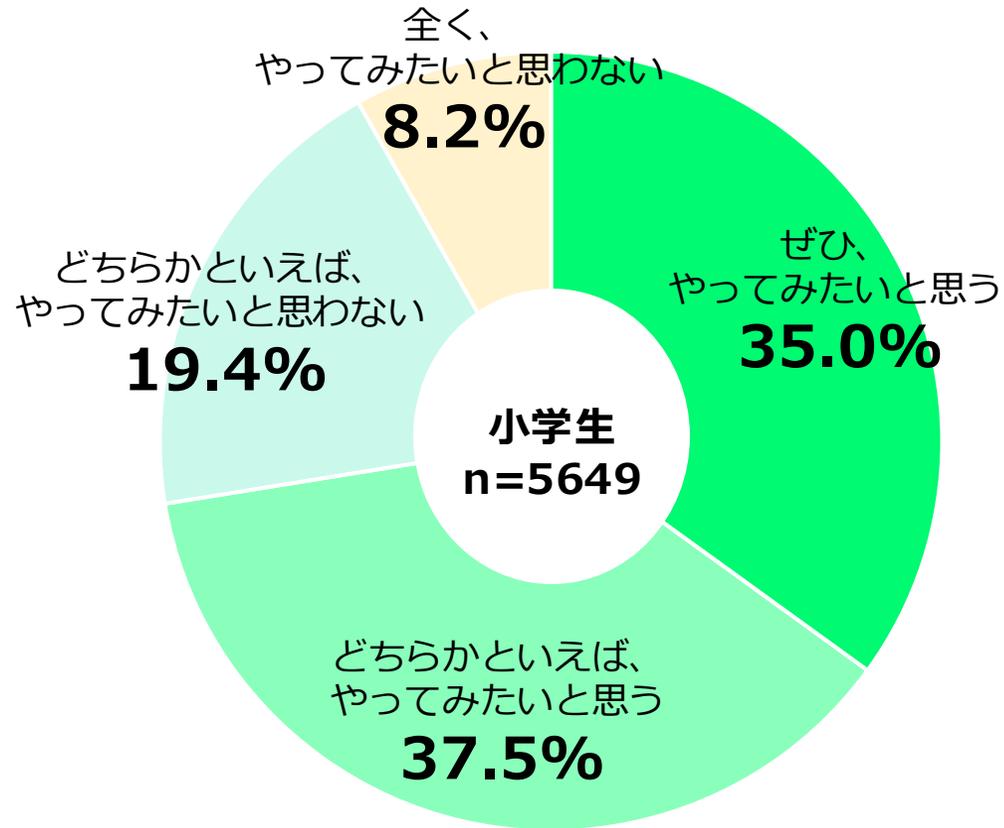
Q.中学生になったお子様が、心身ともに健康でバランスの取れた生活を送っていくために、文化・スポーツ活動をどの程度行う事が適切だと思いますか？



中学生になって行いたい活動量として、**現小学生の76%は週3日以内**である。  
現在の**部活動量（週4日）**を削減していくことも参加者のニーズを満たすために検討していく必要がある

# 芸術文化・スポーツ活動に対する意向

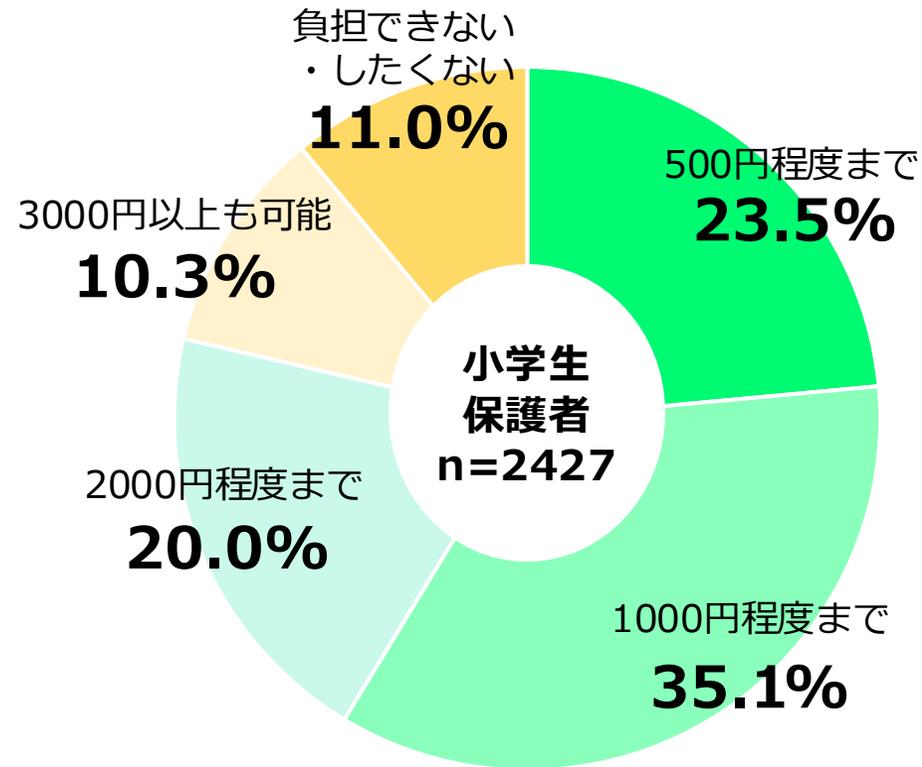
Q. 参加する種目（活動）を一つに絞るのではなく、2つ以上の種目（活動）を経験したい・させたいと思いますか？



中学生になっても複数種目を行いたいというニーズは高い（73%）。一つの活動に制限するのではなく、複数種目に参加できる体制（オフ期間、活動時間の短縮等）づくりをしていく必要がある

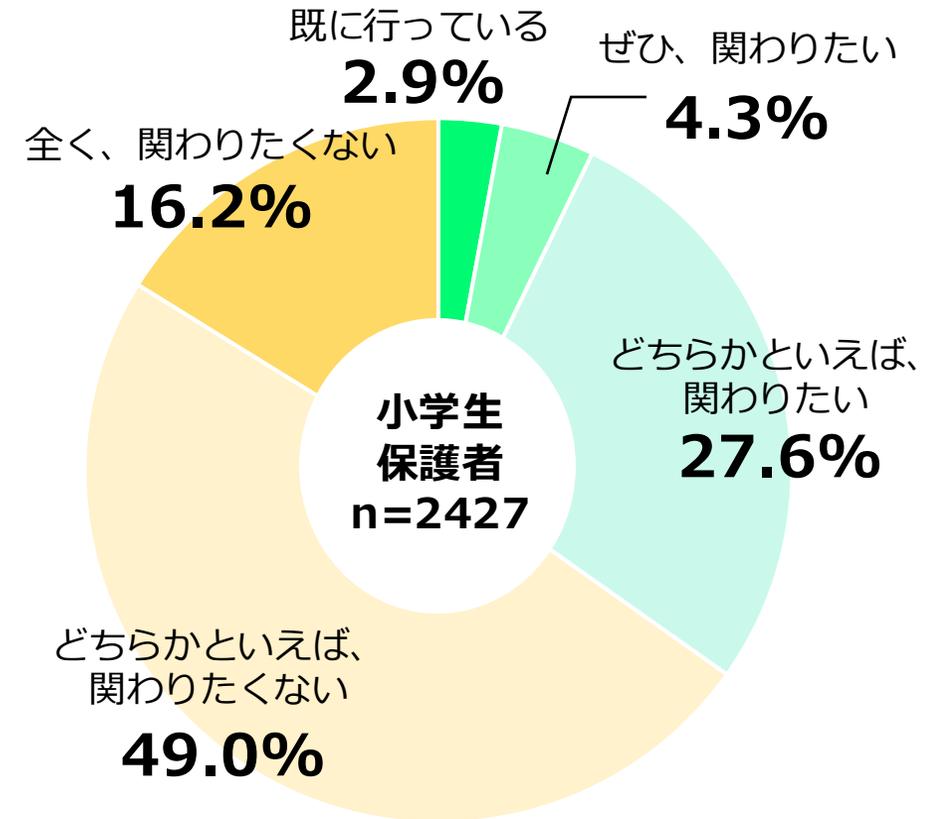
# 子どもの芸術文化・スポーツ活動における支援

Q.もし、週一回（土日のどちらか一日）、部活動の代わりに地域で文化・スポーツ活動を行うことができるとしたら、1回あたりいくらくらいを負担できますか？



1回あたりの負担許容額の平均は**1,170円程**。  
中学生保護者よりも出費に対する許容度が高い

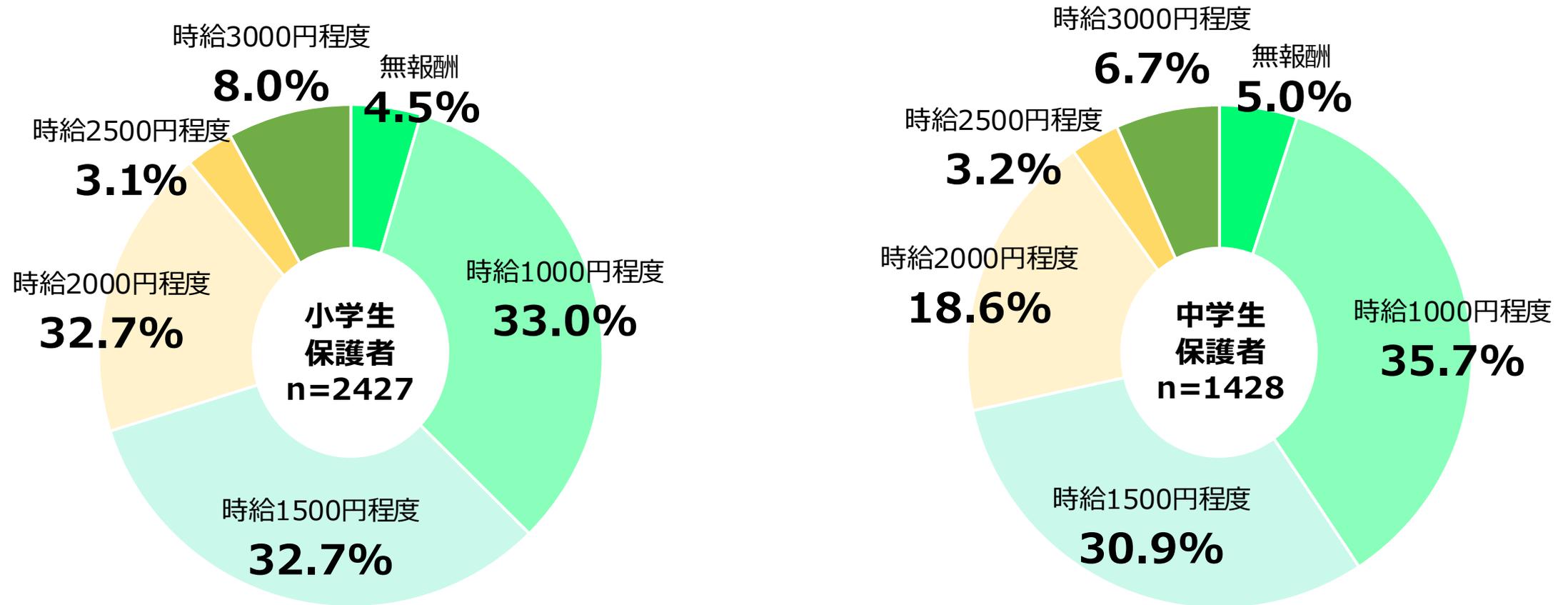
Q.お願いされたら、地域の文化・スポーツ活動に指導者や見守り、サポーターとして関わりたいと思いますか？



**35%（850名）**の保護者が地域の活動に既に関わっている、または関わることに前向きであり、地域人材として活用が期待できる

# 子どもの芸術文化・スポーツ活動における支援

## 保護者が考える地域指導者に対する適切な謝金額



小学生保護者も中学生保護者も1,000~2,000円/hがボリュームゾーンであり、平均すると1500円/h程度になる。一方、この額は部活動指導員の報酬額を下回るものであり、適切な謝金額に対する理解をさらに周知していく必要がある。

# 中学校及び小学生の教員によるアンケート結果

## 中学校\_教員

回答者数 328名

同意する : 323名 (98.5%)

同意しない : 5名 (1.5%)

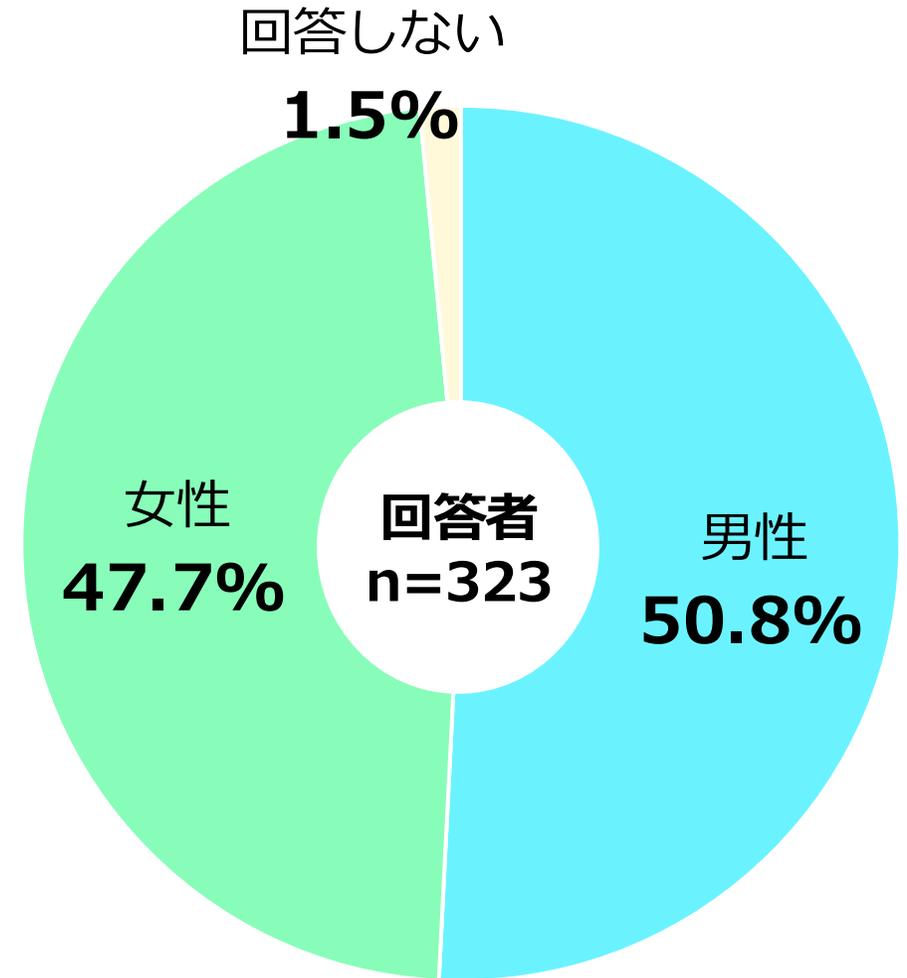
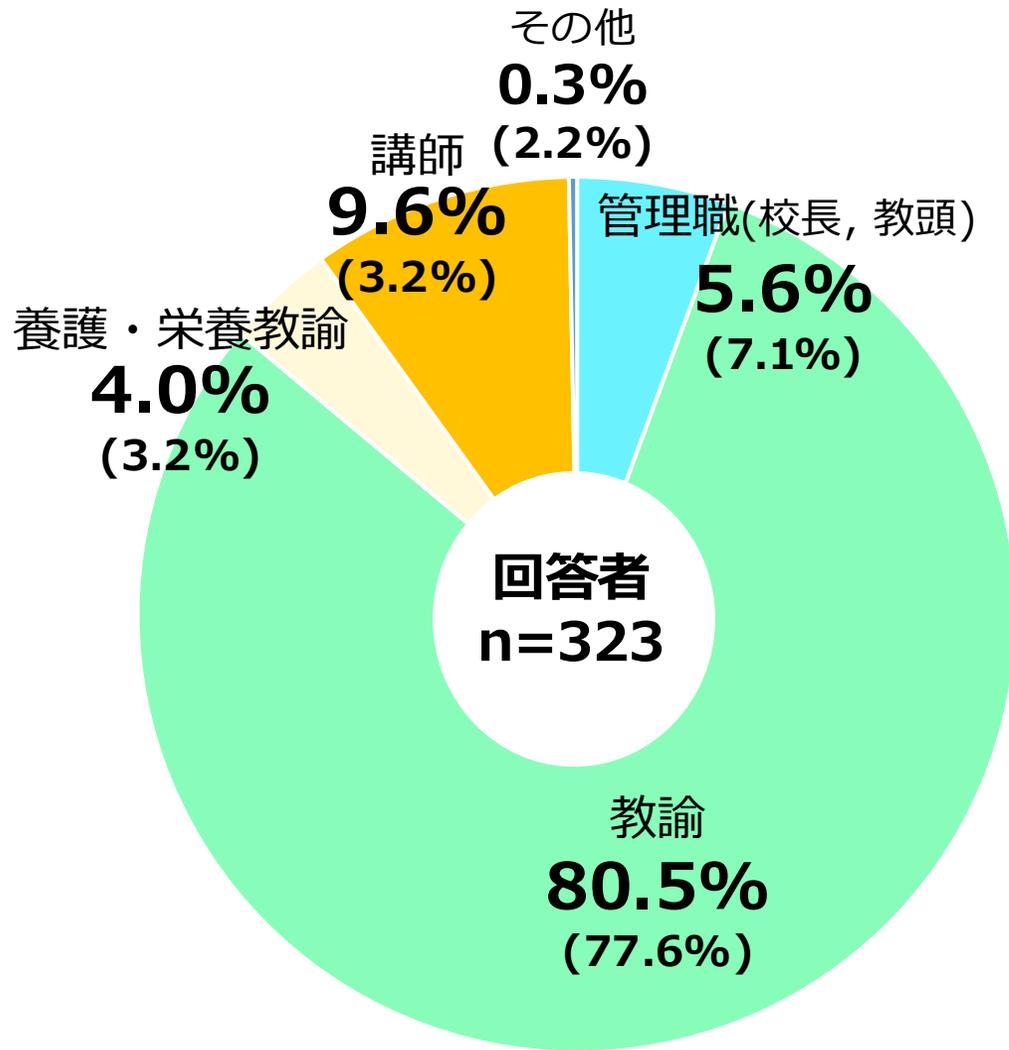
## 小学校\_教員

回答者数 605名

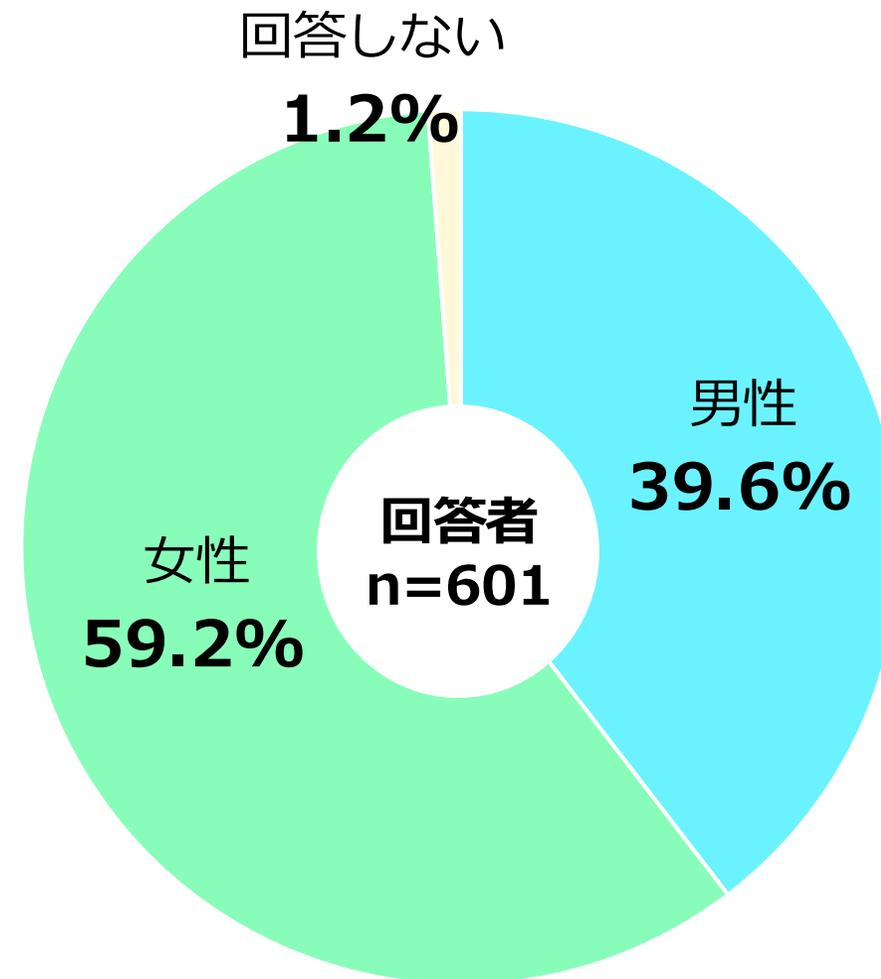
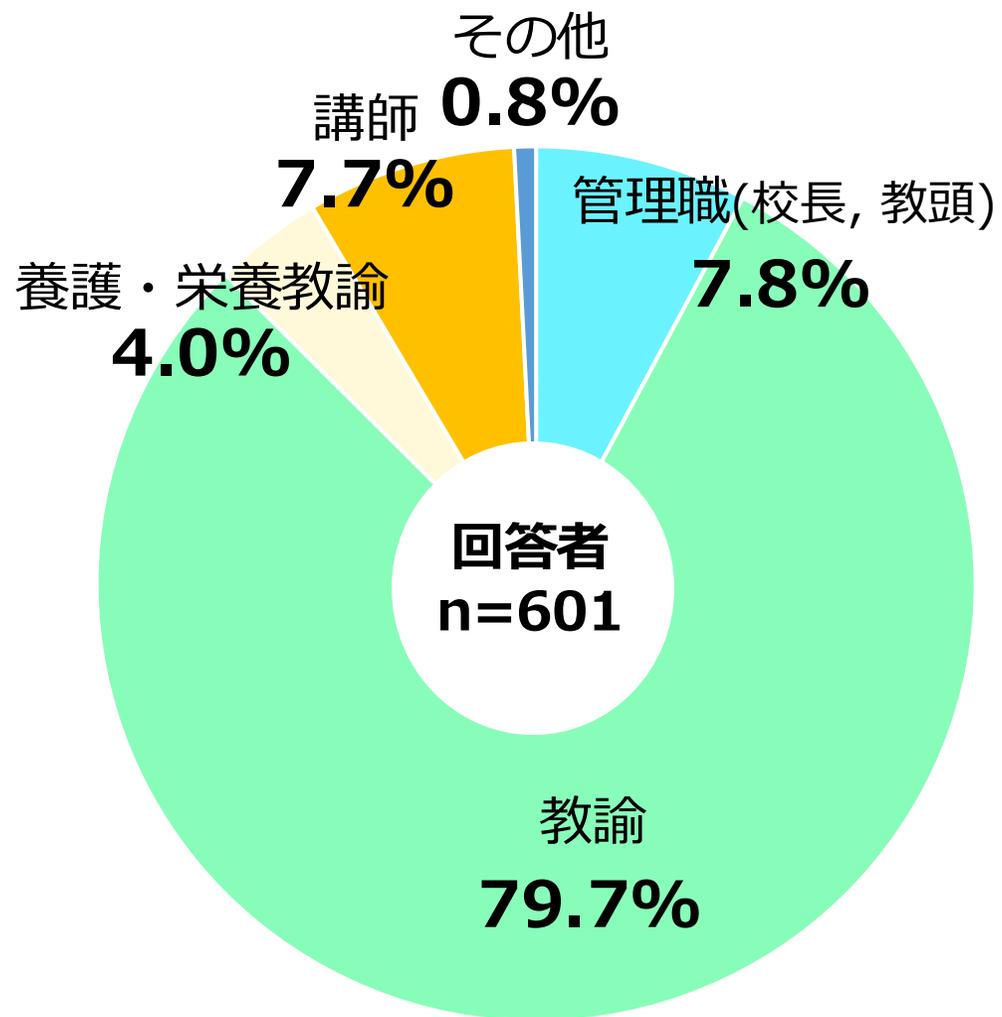
同意する : 601名 (99.9%)

同意しない : 4名 (0.1%)

# 回答者属性\_中学校教員

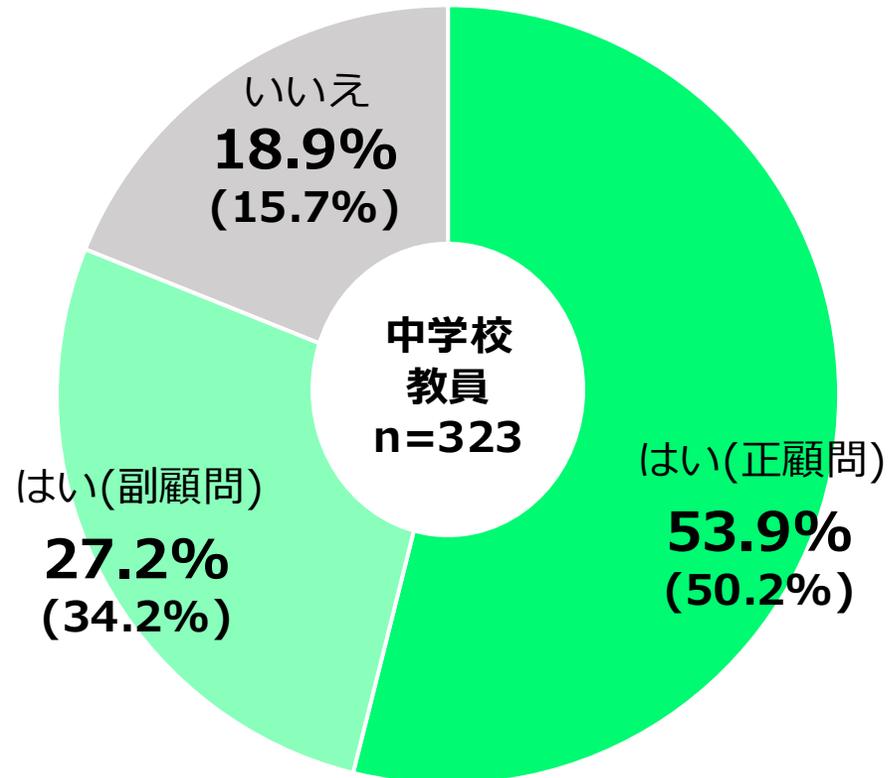


# 回答者属性\_小学校教員

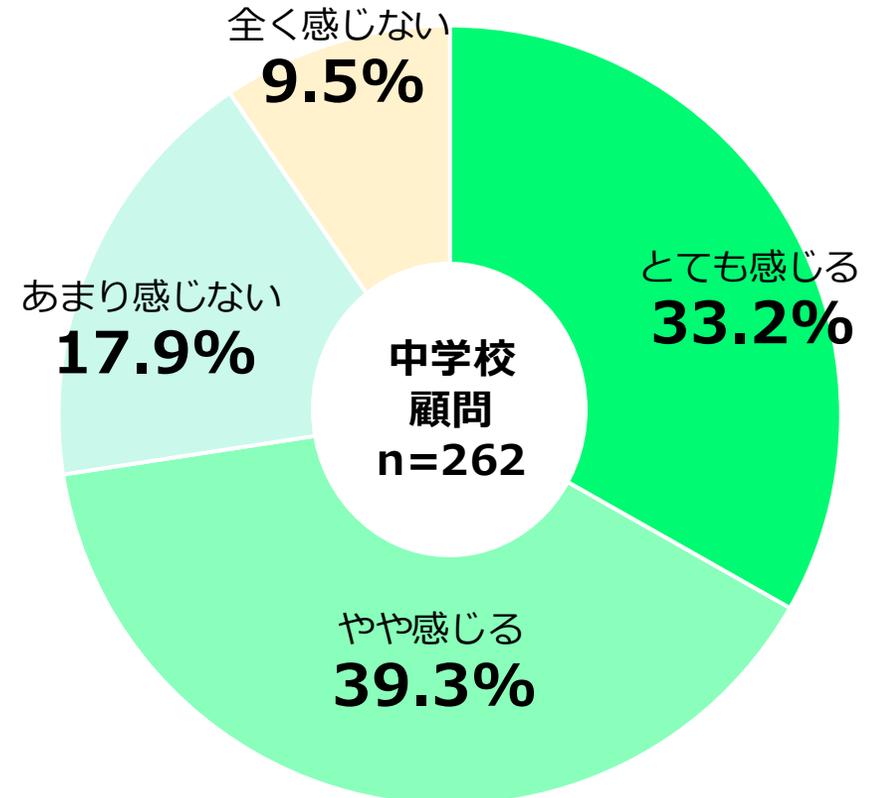


# 部活動における中学校教員の実態

Q. 現在、部活動の顧問をしていますか？



部活動顧問の負担感



80%以上の中学校教員が何らかのかたちで部活動指導をしており、その中の**73%**が顧問を負担であると感じている

# 部活動地域展開における教員の意向

## 地域への活動展開に対する不安感や心配事(複数回答可)

### 【中学校教員】

結局、教員の負担が減らない	<b>54.8%</b> (51.8%)
学校における生徒指導・生活指導ができなくなる	<b>36.2%</b> (45.5%)
体験の格差が広がる	<b>34.1%</b> (31.5%)
学校を代表して活動する意識が低くなる	<b>24.1%</b> (29.7%)
先輩・後輩との関係性が希薄化する	<b>10.8%</b> (11.1%)
不安や心配なことはない	<b>10.8%</b>
活動がより過激化してしまう	<b>8.7%</b> (23.4%)
その他	<b>9.3%</b> (13.9%*)

## 地域への活動展開において予期される課題(複数回答可)

### 【小学校教員】

体験の格差が広がる	<b>44.8%</b>
結局、教員の負担が減らない	<b>41.6%</b>
学校における生徒指導・生活指導ができなくなる	<b>32.1%</b>
学校を代表して活動する意識が低くなる	<b>25.8%</b>
活動がより過激化してしまう	<b>14.8%</b>
不安や心配なことはない	<b>11.5%</b>
先輩・後輩との関係性が希薄化する	<b>10.0%</b>
その他	<b>11.0%</b>

中学校教員・小学校教員ともに「教員の負担が減らない」「生徒指導ができなくなる」「体験格差が広がる」が上位3つを占めている。**教員の負担を確実に減らしつつ、参加を望む生徒が諦めることなく参加できる体制・支援制度が必要**となる。

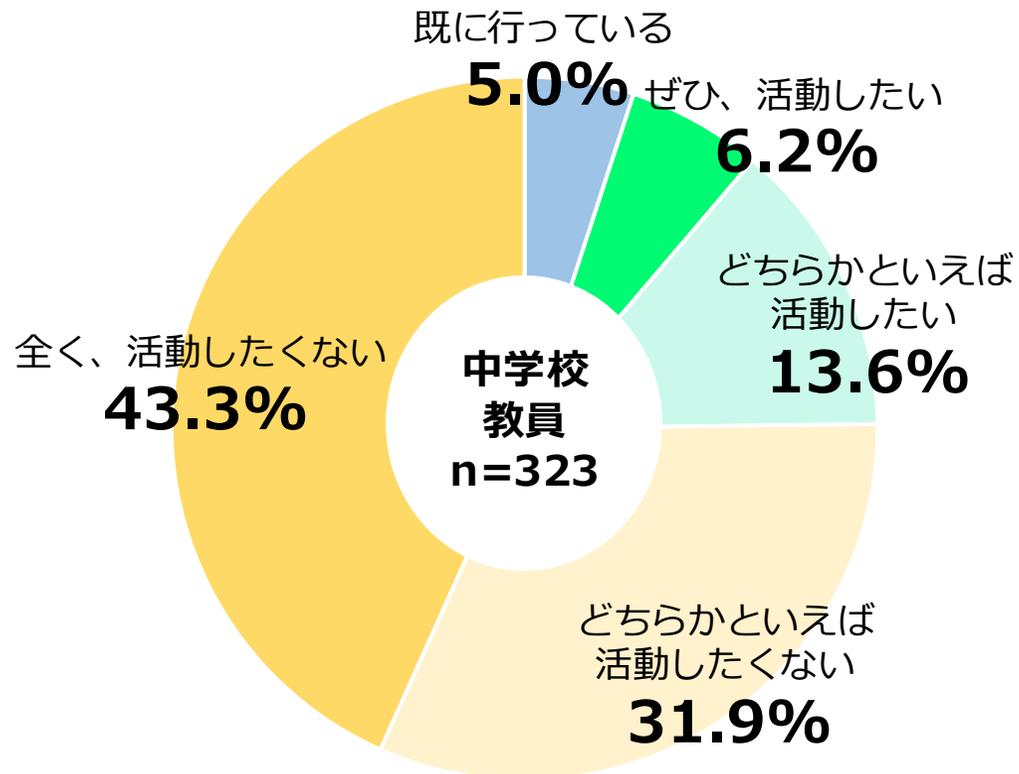
一方、**生徒指導についてはその目的とゴールを明確にしつつ、学校教育内、地域、家庭とが役割分担**をしながら部活動に頼らない仕組みを構築していく必要がある。

( ) 全国データ

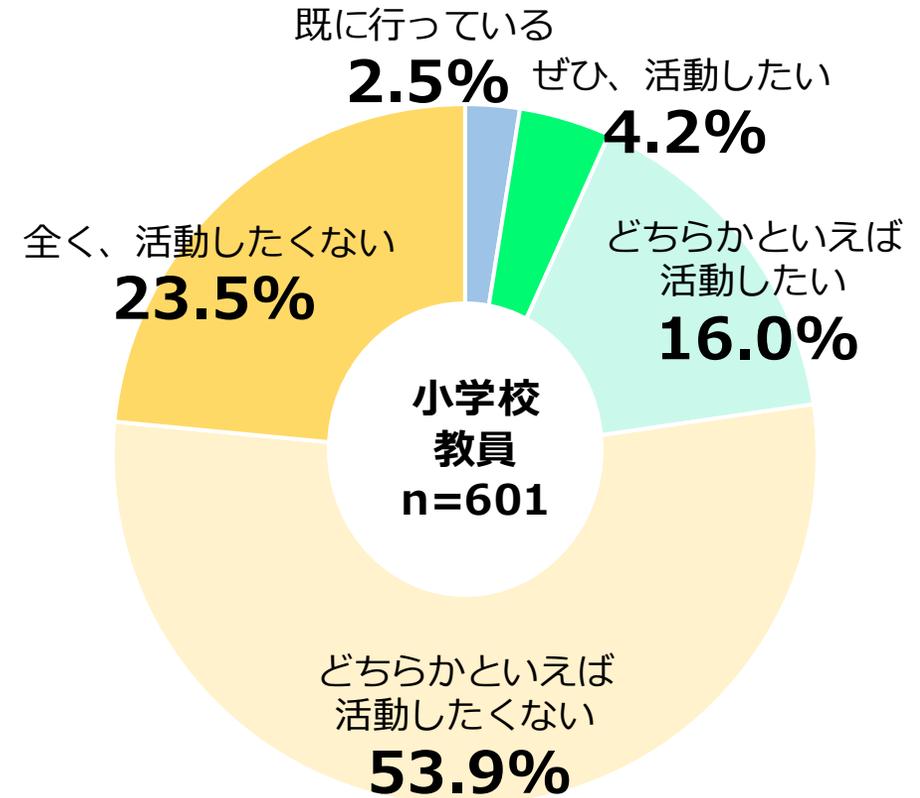
※ 全国データには「不安や心配なことはない」の選択肢は無く、おそらく「その他」の中に一定数含まれる。

# 部活動地域展開における教員の意向

Q. 今後、「休日」の部活動が地域移行された場合に、地域指導者として活動を行いたいですか？



Q. お願いされたら、地域のスポーツ・文化活動に指導者や見守り、サポーターとして関わりたいと思いますか？



中学生教員、小学校教員ともに地域指導者として既に関わっている、または活動することに前向きな人が20%強（合計215名程度）おり、地域人材として活用することができる

# 部活動地域展開における教員の意向

**Q. 指導者や見守り、サポーターとして活動に関わる場合、どんな環境が整うことが大切だと思いますか？** (複数回答可)

## 【中学校教員】

適切な報酬が支払われること	<b>71.5%</b> (45.7%)
兼職兼業が的確に運用されること	<b>45.8%</b> (40.0%)
自分の専門競技（種目・文化活動）の指導ができること	<b>40.2%</b> (57.1%)
複数の指導者による当番制など、協力して指導する体制が整っていること	<b>33.4%</b> (31.4%)
責任の所在が学校以外（教育委員会または地域団体）にあること	<b>30.0%</b> (51.4%)
顧問をしている部活動の生徒を指導できること	<b>17.6%</b> (25.7%)
居住する地域で指導できること	<b>11.5%</b> (20.0%)
その他	<b>2.5%</b> (2.9%)

## 【小学校教員】

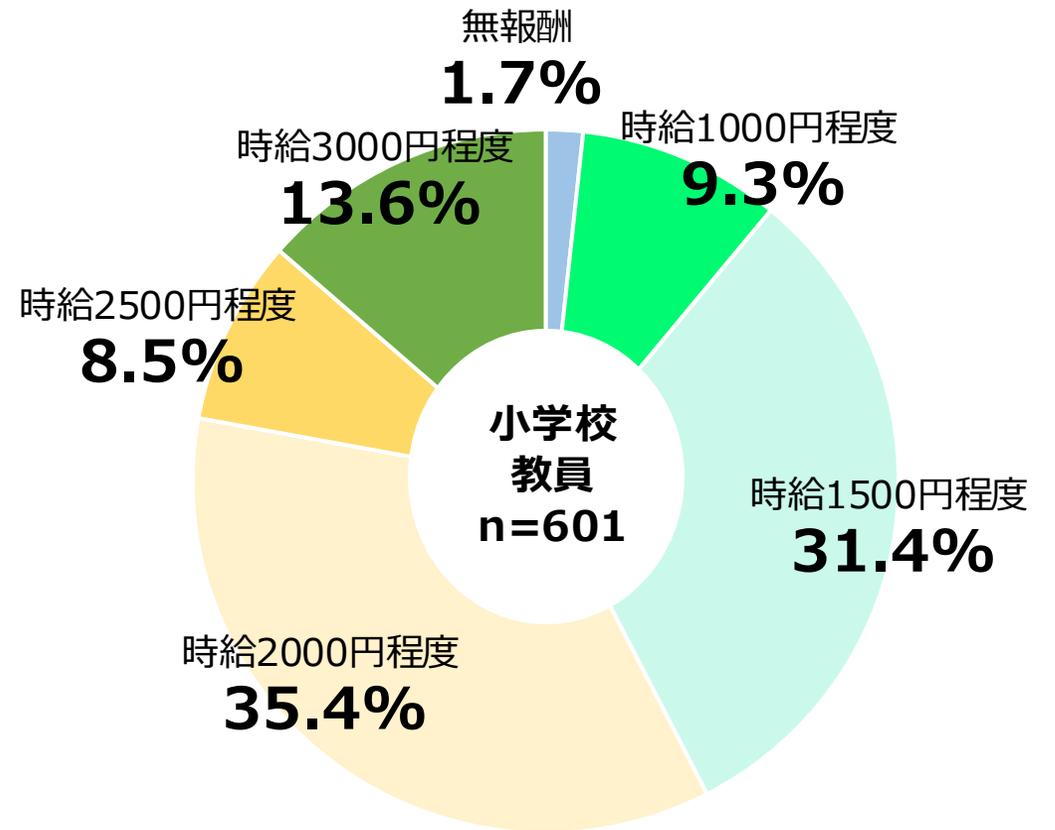
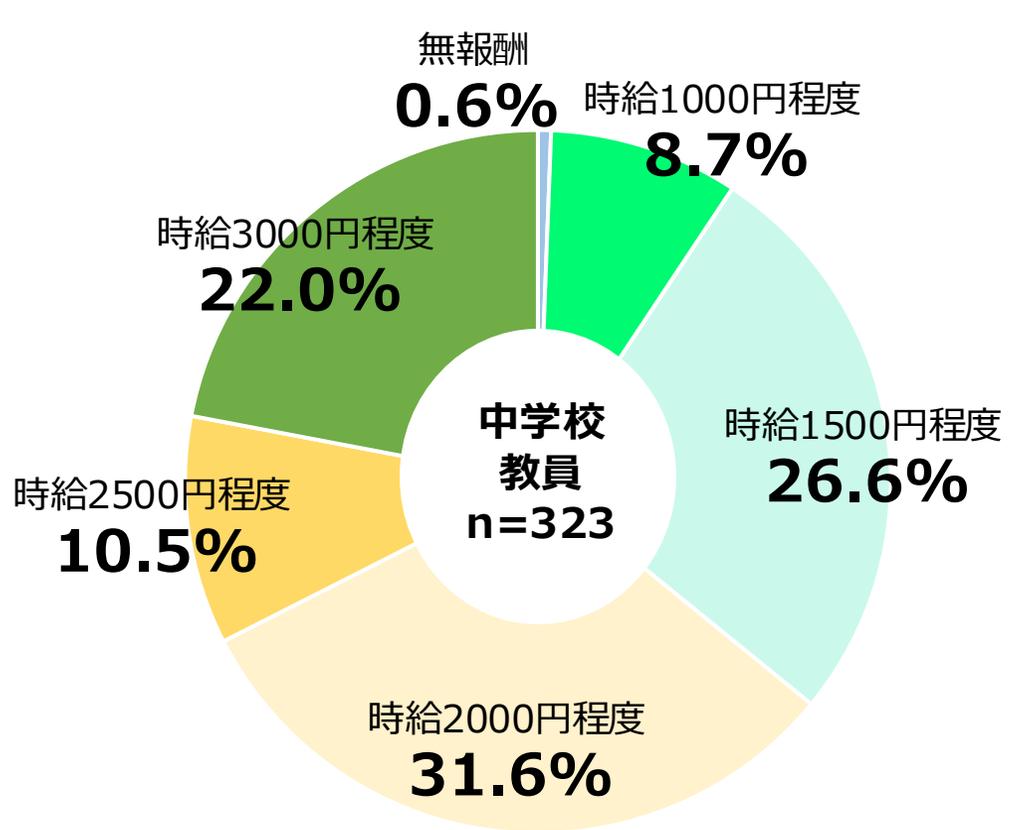
適切な報酬が支払われること	<b>72.0%</b>
自分の専門競技（種目・文化活動）の指導ができること	<b>53.9%</b>
兼職兼業が的確に運用されること	<b>38.4%</b>
複数の指導者による当番制など、協力して指導する体制が整っていること	<b>37.3%</b>
責任の所在が学校以外（教育委員会または地域団体）にあること	<b>36.1%</b>
居住する地域で指導できること	<b>18.1%</b>
その他	<b>1.0%</b>

中学校・小学校教員ともに「適切な報酬が支払われること」が最上位であり、続いて「自分の専門の指導ができる」「兼職兼業が適切に運用される」が上位となる。

適切な報酬を支払えるような体制整備が急務である。

# 部活動地域展開における教員の意向

## 適切な地域指導者の謝金額



中学校・小学校教員ともに1,500~2,000円/hがボリュームゾーンであり、平均すると**1900円/h程度**になる。  
保護者が考える適正謝金とのギャップ（400円/h程度）を埋めていく必要がある。

## 2025年12月時点 費用負担について

### ◇ 前提整理

活動日：平日3日間+休日1日の週4回活動

場所：みどりの学園・翠輝学園の学校施設

運営：指導者（業務委託）+事務局（正規雇用）

### ◇ 受益者負担費用

受益者負担：年会費6,600円 月会費5,500円 ※どちらも税込

就学支援を受けている家庭：月会費2,000円 ※市補助金活用で無償

### ◇ 指導者委託費

平日：4,000円・休日：8,000円

### ◇ 使用ツール

会員管理・連絡ツール：月額5,500円/種目

指導者管理・評価ツール：月額5,500円/種目

### ◇ 会員数（2025.12末時点）

サッカー	23名	男子テニス	21名
軟式野球	17名	女子テニス	14名
陸上	23名	男子バレー	4名
卓球	25名	女子バレー	16名
剣道	15名	男子バスケ	20名
ダンス	12名	女子バスケ	16名
ハンドボール	15名	吹奏楽	11名
バドミントン	73名	室内活動	15名
	合計		320名

## 2025年12月時点 費用負担について

◇ 休日のみ・月次支出（簡易版） ※月次支出額=指導者数\*8,000円/回\*4回/月+会員管理・指導者管理ツール11,000円/月

種目	会員数	指導者数	月次支出額	負担額/人	種目	会員数	指導者数	月次支出額	負担額/人
サッカー	23名	3名	107,000円	4,653円	男子テニス	21名	2名	75,000円	3,572円
軟式野球	17名	3名	107,000円	6,295円	女子テニス	14名	2名	75,000円	5,358円
陸上	23名	2名	75,000円	3,260円	男子バレー	4名	1名	43,000円	10,750円
卓球	25名	2名	75,000円	3,000円	女子バレー	16名	2名	75,000円	4,688円
剣道	15名	2名	75,000円	5,000円	男子バスケ	20名	2名	75,000円	3,750円
ダンス	12名	2名	75,000円	6,250円	女子バスケ	16名	1名	43,000円	2,688円
ハンドボール	15名	1名	43,000円	2,867円	吹奏楽	11名	2名	75,000円	6,819円
バドミントン	73名	5名	171,000円	2,343円	室内活動	15名	3名	107,000円	7,134円
合計・平均					16種目	320名	35名	1,296,000円	4,050円

※簡易版:就学支援家庭(約20家庭)による収入減、備品・消耗品費購入による支出増は未反映

## 2025年12月時点 費用負担について

◇ 平日休日・月次支出（簡易版） ※月次支出額=指導者数\*4,000円/.回\*12回/月+指導者数\*8,000円/回\*4回/月+会員・指導者管理ツール11,000円/月

種目	会員数	指導者数	月次支出額	負担額/人	種目	会員数	指導者数	月次支出額	負担額/人
サッカー	23名	3名	251,000円	10,914円	男子テニス	21名	2名	171,000円	8,143円
軟式野球	17名	3名	251,000円	14,765円	女子テニス	14名	2名	171,000円	12,215円
陸上	23名	2名	171,000円	7,435円	男子バレー	4名	1名	43,000円	22,750円
卓球	25名	2名	171,000円	6,840円	女子バレー	16名	2名	171,000円	10,688円
剣道	15名	2名	171,000円	11,400円	男子バスケ	20名	2名	171,000円	8,550円
ダンス	12名	2名	171,000円	14,250円	女子バスケ	16名	1名	91,000円	5,688円
ハンドボール	15名	1名	91,000円	6,067円	吹奏楽	11名	2名	171,000円	15,546円
バドミントン	73名	5名	411,000円	5,631円	室内活動	15名	3名	251,000円	16,734円
合計・平均					16種目	320名	35名	2,976,000円	9,300円

※簡易版:就学支援家庭(約20家庭)による収入減、備品・消耗品費購入による支出増は未反映